

特101

886

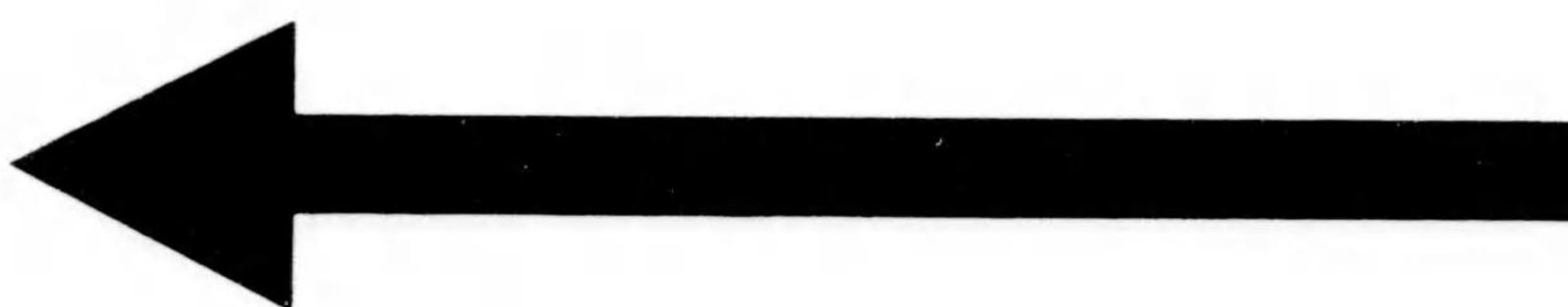
# 蠶絲業法規

附諸規程

神戸新聞社印刷部出版



# 始



# 蠶絲業法規

附諸規程

神戸新聞社印刷部出版

特101  
886

目次

蠶絲業法

蠶絲業法施行規則

蠶種檢查手數料ニ關スル勅令

蠶絲業法施行事務取扱規程

蠶病豫防心得

蠶業取締所規程

自家用蠶種製造ノ指定地

蠶絲業法施行手續

兵庫縣蠶業取締所及支所、名稱位置管轄區域

兵庫縣蠶業取締所職制

法律第四十七號  
四十四年三月廿八日

省令第三十號  
四十四年十月三日

勅令第二百十四號  
四十四年七月廿八日

省令第十九號  
四十四年十二月十六日

告示第五百七十一號  
四十四年十二月六日

省令第三十一號  
四十四年十月十六日

告示第五百五十七號  
四十四年十一月廿七日

縣令第一號  
四十五年一月十六日

縣告示第十五號  
四十五年一月十六日

縣告示第十六號  
四十五年一月十六日



一 五 七 三 九 三 一 三 一 四

兵庫縣蠶業取締所處務規程

達第十一號  
四十五年四月十二日

一三六

兵庫縣蠶業取締所事務取扱手續

達第十二號  
四十五年四月十二日

一四六

蠶種檢查手數料徵收規程

縣令第三十六號  
四十五年六月十日

一四四

蠶種檢查手數料徵收手續

訓令甲第二十二號  
四十五年六月十日

一八九

蠶業取締所職員旅費規則

訓令甲第二號  
四十五年一月二十日

一九一

關係法規

重要物產同業組合法

法律第三十五號  
三十三年三月六日

一九三

重要物產同業組合法施行規則

省令第七號  
三十三年三月三十一日

二〇〇

間接國稅犯則者處分法

法律第六十七號  
三十三年三月十七日

二〇七

間接國稅犯則者處分法施行規則(拔萃)

勅令第五十二號  
三十三年三月二十三日

二〇四

法人ニ於テ租稅ニ關スル事犯アリタルトキ處罰制

法律第五十二號  
三十三年三月十三日

二〇六

原蠶種及種蠶審查ニ關スル法規

原蠶種製造所官制

勅令第五百五十號  
四十四年五月十日

二二七

種繭審查會規則

勅令第二百七十六號  
四十四年十一月廿二日

二二九

兵庫縣種繭審查會規則

縣令第三十三號  
四十五年五月二十日

二三四

雜部

縣吏員及其ノ他職員旅費規則

縣訓令第十九號  
三十四年三月二十日

二二七

內國旅費規則

勅令第三百三十三號  
三十年九月廿四日

二二九

兵庫縣處務規程(拔萃)

達第一號  
四十年八月十日

二三五

勸業技術員補助規則

縣告示第四百四十號  
三十七年三月三十日

二四二

蠶繭乾燥場補助規程

縣令第十號  
四十年三月五日

二四五

桑園改良增殖獎勵補助規程  
 共同稚蠶飼育補助規程  
 蠶種購入獎勵規程  
 蠶病豫防費國庫補助規則  
 蠶絲業改良獎勵費交付規則

四  
 縣告示第七十九號  
 四十二年四月二十日  
 縣令第三號  
 三十九年三月二日  
 縣農會  
 省令第六號  
 四十年四月一日  
 省令第二十一號  
 二五  
 二六  
 二七〇  
 二七二  
 二七四

# 現行蠶絲業法規

法律第四十七號 明治四十四年三月廿八日

## 蠶絲業法

第一條 本法ニ於テ蠶絲業者ト稱スルハ養蠶、蠶種製造、生絲製造、眞綿製造、殺蛹、乾繭、又ハ蠶種、繭、生絲、屑物類ノ賣買、仲立若ハ保管ヲ業トスル者ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造スル者ヲ謂フ

第三條 本法ニ於テ蠶病ト稱スルハ微粒子病、軟化病、硬化病、膿病及蠶蛆病ヲ謂フ

第四條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ病蠶及斃蠶ノ病原微生物並蠶蛆及其ノ蛹、蠅ヲ滅殺シ其ノ他蠶病豫防ノ爲必

要ナル施設ヲ爲スヘシ

主務大臣ハ學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ對シ前項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第五條 蠶種製造者タラムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ

第六條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶室及蠶具ノ消毒ヲ行フヘシ

第七條 蠶種製造者ハ第十一條第二項及第十二條ノ規定ニ依ル特別ノ蠶種

ヨリ産出シタル繭ヲ用ウルニ非サレハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス

第八條 蠶種製造者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル繭又ハ蛾ヲ以テ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス

一 蠶兒ノ合同シテ作りタル繭

二 繭層片薄ナル繭又ハ形狀不整ナル繭

三 繭層ノ量繭ノ全量百ニ對シ一化性ニ在リテハ十一、二化性ニ在リテハ八、多化性ニ在リテハ七ニ達セサルモノ

四 蠶兒發育不良ニシテ收繭ノ量著シク減少シタルモノ

五 體軀ノ不完全ナル蛾

六 免許ヲ受ケタル蠶種製造者ニ非サル者ノ飼育シタル蠶兒ヨリ産出シタル繭

第九條 蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ト同一ノ飼育時期ニ於テ製絲用ノ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ得ス

蠶種製造者ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ蠶種製造用ノ蠶兒ヲ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得ス

第十條 蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ノ掃立ヨリ蠶種ノ製造ヲ終ル迄他ノ蠶種製造者又ハ養蠶者ト同一ノ建物又ハ蠶具ヲ供用スルコトヲ得ス

第十一條 蠶種製造者ハ收繭後ニ於テ掃殼及繭、産卵後ニ於テ越年蠶種ニ在リテハ出殼繭及卵、不越年蠶種ニ在リテハ出殼繭ニ付検査ヲ受クヘシ但シ不越年蠶種ニ在リテモ卵ノ検査ヲ受ケシムルコトヲ得

蠶種製造者蠶種ヲ特別蠶種ト爲サムトスルトキハ之ヲ框製トシ前項ノ検査ノ外越年蠶種ニ在リテハ母蛾、不越年蠶種ニ在リテハ卵及母蛾ノ検査ヲ受クヘシ

第十二條 主務大臣ハ前條ノ規定ニ拘ラズ原蠶種製造所、學校、講習所、試験場等ニ於テ製造シタル蠶種ヲ特別蠶種ト指定スルコトヲ得

第十三條 地方長官ハ第十一條ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ證印ヲ押捺シ其ノ検査ニ合格セサル蠶種ハ之ヲ燒棄スヘシ

第十四條 検査合格ノ證印ナキ蠶種及其ノ蠶兒ハ之ヲ讓渡シ又ハ飼育スルコトヲ得ス但シ第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル特別蠶種及其ノ蠶兒ヲ讓渡シ若ハ飼育シ又ハ第十七條但書ノ規定ニ依リ移入若ハ輸入シタル蠶種ノ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ妨ケス

第十五條 地方長官ハ錯誤ニ依リ又ハ不法ニ押捺セラレタル検査合格ノ證印ヲ發見シタルトキハ遲滯ナク之ヲ抹消スヘシ

第十六條 蠶種製造者ニ非サル者ハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス

主務大臣必要ト認ムルトキハ學術研究又ハ自家用ノ爲ニスル蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ許可スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法中蠶種製造者ニ關スル規定ノ全部又ハ一部ヲ準用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ製造シタル蠶種及其ノ蠶兒ハ第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル特別蠶種及其ノ蠶兒ヲ除クノ外之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第十七條 本法ヲ施行セサル地又ハ外國ニ於テ製造シタル蠶種ハ之ヲ移入シ又ハ輸入スルコトヲ得ス但シ學術研究ノ爲主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限りニ在ラス

第十八條 主務大臣必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ製造者ハ其ノ讓渡讓受又ハ原蠶種ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

主務大臣ハ地方特別ノ狀況ニ依リ地方長官ヲシテ前項ノ制限ヲナサシム

ルコトヲ得

第十九條 主務大臣ハ蠶種又ハ繭ノ賣買又ハ取引市場ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第二十條 蠶種ノ臺紙ニ關シ取締上必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 蠶種ノ冷蔵ヲ業トセムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ

第二十二條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第十一條ノ検査其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル吏員ヲ置クヘシ

第二十三條 主務大臣及地方長官ハ必要ニ應シ種繭ノ審査及原蠶種ノ選定ヲ行ハシムル爲種繭審査會ヲ設クヘシ

種繭審査會ノ設置、組織、權限及審査選定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 第五條、第七條、第八條第六號、第十一條及第三十八條乃至第四十一條ノ規定ハ府縣ニ之ヲ適用セス

第二十五條 地方長官必要ト認ムルトキハ野蠶ノ飼育、採種又ハ野蠶生繭ノ取扱ヲ業トスル者ニ第四條第一項ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第二十六條 蠶病豫防事務及地方種繭審査會ニ關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ國庫ハ其ノ半額以內ヲ補助スルコトヲ得

第二十七條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種検査ニ關シ手数料ヲ徵收スヘシ

第二十八條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物産同業組合法第三條及第四條ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 前條ノ同業組合聯合會及一府縣以上ヲ地區トスル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セサル者ハ相互ノ氣脈ヲ通シ及蠶絲類ノ海外貿易ノ發展其他ノ蠶絲業ノ利益増進ヲ圖ル爲全國ヲ地區トシテ蠶絲業同業組合中央會ヲ設置スルコトヲ得

主務大臣必要ト認ムルトキハ前項ニ掲ケタル者ノ外同業組合聯合會ニ加



入セサル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ蠶絲業同業組合中央會ニ加入スヘキ者ヲ指定スルコトヲ得

第三十條 蠶絲業同業組合中央會ノ設置ヲ發起セムトスル者ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ發起人ハ同業組合聯合會、一府縣以上ヲ地區トスル同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セサル者及前條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定シタル同業組合ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十一條 蠶絲業同業組合中央會成立シタルトキハ同業組合聯合會、一府縣以上ヲ地區トスル同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セサル者及第二十九條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定シタル同業組合ハ之ニ加入スヘシ

第三十二條 蠶絲業同業組合中央會ノ會議ハ之ヲ組織スル同業組合聯合會

及同業組合ニ於テ同業組合ノ組合員中ヨリ選舉シタル議員ヲ以テ組織スヘシ

主務大臣ハ蠶絲業同業組合中央會ノ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エサル特別議員ヲ命スルコトヲ得

第三十三條 蠶絲業同業組合中央會議員ノ定數配當及選出方法並役員ノ名稱選任解任及權限ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 重要物産同業組合法第六條、第七條及第十一條乃至第十六條ノ規定ハ蠶絲業同業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第三十五條 當該官吏吏員ハ蠶病豫防ニ關シ蠶種又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ノ店舗、倉庫、製造場、飼育場等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スルコトヲ得

地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲アリト認ムルトキハ當該官吏吏員ヲシテ前項ニ掲ケタル場所ニ臨檢シ犯罪嫌疑者若ハ

参考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之カ差押ヲ爲サシムルコトヲ得

臨檢、尋問、搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第三十六條 當該官吏吏員ハ自己、親族又ハ同居者ニ對シ第十一條ノ檢査ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條 蠶絲業者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

前項ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得  
其ノ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 詐欺ノ所爲ヲ以テ第十一條ノ檢査ヲ受ケタル者

二 第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ違反シタル者

第三十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ參百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 免許ヲ受ケスシテ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造シタル者

二 免許ヲ受ケスシテ蠶種冷蔵ノ業ヲ爲シタル者

三 第四條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

四 第七條、第八條又ハ第十六條第三項ノ規定ニ違反シタル者

第四十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ貳百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シタル者

二 第十六條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第四十一條 第三十八條、第三十九條第一號第四號又ハ前條第二號ノ犯罪ニ係ハル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シタル場合ニ於テハ其ノ價額ヲ追徵ス

前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ

之ヲ沒收スルコトヲ得

第四十二條 第三十五條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏吏員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サ、ル者ハ貳百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十三條 蠶絲業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限リニ在ラス

第四十四條 蠶絲業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス但シ相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限リニ在ラス

第四十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル

命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第四十六條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

附 則

第四十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶病豫防法ハ之ヲ廢止ス

第四十八條 本法ハ沖繩縣、小笠原、伊豆七島其ノ他命令ヲ以テ指定スル地域ニ之ヲ施行セス

第四十九條 蠶病豫防法ニ依ル検査合格ノ證印ハ之ヲ本法ニ依ル検査合格ノ證印ト看做ス

第五十條 蠶病豫防法ニ依リ検査ニ合格シタル原種ハ之ヲ特別蠶種ト看做ス

第五十一條 本法施行前製造シタル自家用蠶種ノ蠶兒ハ本法施行後ト雖之

ヲ飼育スルコトヲ得

第五十二條 本法施行ノ際蠶種ノ冷蔵ヲ業トスル者ハ本法施行後一年ヲ限  
リ免許ヲ受ケスシテ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

農商務省令第三十號 明治四十四年十月三日

### 蠶絲業法施行規則

第一條 蠶絲業法第五條ノ免許ハ蠶種製造場所所在地ノ地方長官之ヲ行フ  
モノトス但シ蠶種製造場所所在地ト蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所所在地ト  
カ之ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル場合ニ於テハ關係地方長官之ヲ行フ  
モノトス

第二條 前條ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左ノ事項ヲ記載シ蠶種  
製造場所所在地ノ地方長官ニ差出スヘシ

- 一、氏名若ハ名稱及住所
- 二、蠶種製造場所
- 三、別ニ蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所ヲ有スルトキハ其場所
- 四、蠶種製造ノ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名、住所

五、蠶室ノ數及面積、蠶具ノ種類及數竝桑園ノ反別又ハ桑葉量  
六、掃立蟻量及蠶種製造額概定數  
地方長官蠶種製造ノ免許ヲ與エタルトキハ様式第一號ノ免許證ヲ下付ス  
ヘシ

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蠶種製造ノ免許ヲ受クルコトヲ得ス

一、掃立蟻量及蠶種製造額概定數ニ對スル蠶室蠶具及桑園ノ設備若ハ桑葉ノ準備ヲ有セサル者

二、三年以上蠶種製造ニ從事セサル者若ハ蠶絲業ニ關スル學識經驗ヲ有セサル者又ハ蠶種製造ノ管理者ヲ置カサル者

三、蠶絲業法第三十八條又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ處罰ヲ受ケタル後一年ヲ經過セサル者

免許ヲ受ケタル蠶種製造者正當ノ理由ナクシテ一年間蠶種ノ製造ヲ爲ササルトキ又ハ前項各號ノ一ニ該當スルトキハ地方長官ハ其ノ免許ヲ取消

スコトヲ得

第四條 蠶種製造ノ管理者ハ三年以上蠶種製造ニ從事シ又ハ蠶絲業ニ關スル學識經驗ヲ有スル者ニシテ前條第一項第三號ニ該當セサル者タルコトヲ要ス

蠶種製造ノ管理者ハ二人以上ノ蠶種製造者ノ業務ヲ管理スルコトヲ得ス  
蠶種製造者ハ他ノ蠶種製造者ノ管理者タルコトヲ得ス

第五條 蠶種製造者ハ左記事項ヲ毎年地方長官ニ届出ツヘシ

一 化性、化期、越年不越年ノ別及名稱

二 掃立豫定月日

三 掃立豫定蛾數及蟻量

四 蠶種製造額豫定數

第六條 蠶種製造者ハ他人ヨリ讓受ケタル蠶兒又ハ種繭ヲ以テ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス但シ避クヘカラサル災害ニ依リ豫定數ヲ製造スルコト能

ハサル場合及第七十七條第二項但書ノ場合ハ此ノ限リニ在ラス

第七條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ左記事項ヲ毎年生繭ノ取扱場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出ツヘシ

一 氏名若ハ名稱、住所及蠶絲業ニ關スル業種

二 生繭取扱場所

三 生繭取扱豫定月日

四 生繭取扱豫定數量

生繭ノ取扱ヲ爲ス者自ラ其ノ取扱場所ヲ管理セサルトキハ自己ニ代ルヘキ管理者ヲ置キ其ノ氏名住所ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ハ養蠶者、蠶種製造者及自家用ノ爲ニスル生繭取扱者ニ之ヲ適用セス

第八條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者又ハ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者死亡シ、中途廢棄シ又ハ免許願書若ハ第五條又ハ前條ノ届書ノ記載事

項ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前項死亡ノ場合ニ於ケル届出ハ其ノ相續人ヨリ之ヲ爲スヘシ

第九條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者ノ相續人ニシテ被相續人ノ業務ヲ承繼セムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ但シ被相續人ノ死亡後七日以内ニ許可ノ出願ヲ爲シタルトキハ其ノ拒否ノ處分ヲ受クル迄ノ間引續キ被相續人ノ業務ヲ承繼スルコトヲ得

第十條 蠶種製造者又ハ第七條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル生絲製造者、眞綿製造者又ハ生繭ノ賣買、仲立、保管若ハ殺蛹乾繭ニ従事スル者ハ蠶種製造用ノ蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭取扱場所毎ニ様式第二號ノ標札ヲ掲クヘシ

第十一條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者蠶蛆若ハ其ノ蛹、蠅ヲ發見シタルトキハ直チニ之ヲ壓殺、熱殺又ハ水殺スヘシ

第十二條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者病患アリト認ムル蠶兒、蠶

蛹、蠶蛾又ハ其ノ屍體ヲ發見シタルトキハ直チニ之ヲ燒棄シ又ハ熱湯「フオルマリン」若ハ石灰水中ニ投入シ死籠繭又ハ薄皮繭ハ直チニ之ヲ乾燥シ又ハ熱湯中ニ投入シテ其ノ病原體ヲ滅殺スヘシ

第十三條 蠶兒ノ飼育ヲ爲ス者ハ多數ノ病蠶ヲ生シ蠶病蔓延ノ虞アル場合ニ於テハ健蠶ヲ他ニ移シ病蠶及斃蠶ハ前條ニ規定シタル方法ニ依リテ處理シ其ノ蠶室及蠶具ハ第十九條ニ規定シタル方法ニ依リテ之ヲ消毒スヘシ

第十四條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭ヲ集散又ハ保存スル室ニ蠶蛆及其蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ目張ヲ爲シ又ハ澁紙其ノ他緻密ナル目ノ敷物ヲ布キ且室ノ内圍ニ下部ヨリ高サ二寸ヲ下ラサル障板ヲ設クヘシ但シ繭ノ障板ニ接觸スル場合ニ於テハ其ノ繭ノ表面ヨリ二寸以上ヲ保タシムヘシ

蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ構造ノ室ナルトキ又ハ同様ノ容器中ニ生繭ヲ保存スル場合ニ於テハ前項ノ設備ヲ爲スヲ要セス

第一項ノ規定ハ室ノ一部ニ生繭ヲ集散又ハ保存スル場合ニ之ヲ準用ス

床下ニ蠶蛆若ハ其ノ蛹潜伏ノ虞アルトキハ床下掃除ヲ行ヒ其ノ塵芥ノ處理ヲ爲スヘシ但シ床下ノ周圍ニ蠶蛆蠅ノ飛散ヲ防クニ足ル設備ヲ有スルトキハ此ノ限リニ在ラス

第十五條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者生繭ヲ運搬シ若ハ之ヲ運搬セシメムトスルトキハ蠶蛆又ハ其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ綿布、麻布等ヨリ成ル容器中ニ之ヲ納ムヘシ

第十六條 地方長官ハ蠶蛆散逸ノ虞ナキ季節又ハ蠶蛆加害ノ虞ナキ土地ニ於テ蠶兒ノ飼育若ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニハ第七條、第十四條及前條ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第十七條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ上簇以後蠶種ノ製造ヲ終ル迄其ノ建物内ニ自己ノ生産シタル繭ノ外種繭ニ非サル生繭ヲ置クコトヲ得ス

第十八條 蠶種製造者ハ特別蠶種ノ母蛾ヲ除クノ外蠶種製造ニ供用シタル蛾及ヒ蠶絲業法第八條第五號ニ該當シタル蛾ヲ乾燥若ハ燒棄シ又ハ熱湯

「フオルマリン」若ハ石灰水中ニ投入スヘシ

第十九條 蠶種製造者ハ蠶室ハ左記第一號ニ定メタル方法、蠶具ハ左記各號ノ一ニ定メタル方法ニ依リ之ヲ消毒スヘシ但新築ノ蠶室若ハ新調ノ蠶具ニシテ當該官吏吏員必要ナシト認メタルモノハ此ノ限リニ在ラス

一 「フオルマリン」撒布消毒

二 蒸汽消毒

三 蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒

當該官吏吏員前項ノ消毒ヲ完全ナリト認ムルトキハ様式第三號蠶病消毒濟證ヲ蠶種製造者ニ下附シ不完全ナリト認ムルトキハ更ニ之ヲ行フヘキコトヲ命スヘシ

第二十條 蠶種製造者ハ掃立ノ際蟻量ヲ正確ニ秤量シ直チニ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十一條 蠶種製造者蠶兒ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡サムトスル場合

ニ於テ其ノ讓受人蠶種製造者ナルトキハ雙方連署シ蠶種製造者ニ非ラサルトキハ讓渡人ヨリ蠶兒讓渡許可申請書ヲ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

前項ノ申請アリタルトキハ蠶業取締所ハ讓渡スヘキ蠶兒及之ニ對スル掃殻ト申請書トヲ對照シ讓渡人ニ蠶兒讓渡證明書ヲ、讓受人蠶種製造者ナルトキハ之ヲ蠶兒讓渡證明書ヲ下附ス

讓受人蠶種製造者ニシテ讓渡人ト蠶業取締所ノ管轄ヲ異ニスルトキハ前項ノ手續ヲ終リタル後蠶業取締所ハ其ノ旨ヲ直チニ讓受人所轄蠶業取締所ニ通知スヘシ

第二十二條 蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ニ供用シタル臺紙ヲ再用スルコトヲ得ス

第二十三條 蠶種製造者ハ越年蠶種ニ在リテハ産卵前、不越年蠶種ニ在リテハ第四十五條第一項ノ規定ニ依リ臺紙ヲ差出ス前特別蠶種ハ様式第四



號ニ依リ臺紙ノ表面ニ、普通蠶種ハ樣式第五號ニ依リ臺紙ノ裏面ニ化性及越年不越年ノ別、名稱、製造者ノ氏名若ハ名稱、住所及製造場所ヲ記載シ尙特別蠶種ニハ種繭證明書ノ異ナルモノ毎ニ記號ヲ、記號ノ異ナルモノ毎ニ番號ヲ、普通蠶種ニハ產卵蛾數ヲ記載スヘシ

前項ノ化性及名稱ハ蠶種ヲ製造スヘキ繭ヲ產出シタル特別蠶種ノ化性及名稱ヲ襲用スヘシ

蠶種製造者ハ越年蠶種ニ在リテハ產卵後ノ檢查前、不越年蠶種ニ在リテハ產卵後直ニ特別蠶種ハ臺紙ノ表面ニ普通蠶種ハ臺紙ノ裏面ニ產卵ノ月日ヲ記載スヘシ

冷蔵ヲ爲ス越年蠶種ニハ化性ノ下ニ冷蔵ノ二字ヲ記載スヘシ

第二十四條 蠶種製造者又ハ蠶種ノ賣買ニ從事スル者ハ前條ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙ニ記載シタル文字ヲ訂正増加又ハ抹消スルコトヲ得ス但シ蠶種製造者ニシテ自己ノ製造シタル蠶種ニ付檢查前ニ在リテハ地方長官ノ

承認検査後ニ在リテハ其ノ許可ヲ經タル場合ハ此限りニ在ラス

前條ノ規定ニ依リ臺紙ニ記載シタル文字ノ訂正増加若ハ抹消ヲ承認又ハ許可シタルトキハ其ノ文字ノ上ニ樣式第六號ノ變更證印ヲ押捺ス

第二十五條 蠶種製造者ハ蠶種ノ臺紙ヲ縱一尺一寸七分横七寸四分ノ厚紙トシ特別蠶種ニ在リテハ内徑一寸三分以上ノ圓環ヲ容ル、コトヲ得ヘキ區劃二十八箇ヲ設ケ一母蛾ヲシテ一區ニ產卵セシメ母蛾ト其ノ區トニ同一ノ符號ヲ附シ普通蠶種ニ在リテハ百蛾以内ヲシテ一枚ニ產卵セシムヘシ

第二十六條 蠶絲業法第十一條ノ規定ニ依ル検査ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ行フ但シ不越年特別蠶種ニ在リテハ第三號ノ検査ヲ第二號ノ検査前ニ之ヲ行フコトヲ得

- 一 收繭後ノ検査 繭、掃殼
- 二 產卵後ノ検査 卵、出殼繭

不越年普通蠶種ニ在リテハ出殻繭

三 母蛾ノ検査 特別蠶種ト爲スヘキモノ、母蛾

第二十七條 前條規定ノ收繭後ノ検査及産卵後ノ検査ハ肉眼ニ依リ對照シテ之ヲ行ヒ不越年普通蠶種ノ出殻繭ノ検査ハ肉眼ニ依リ之ヲ行ヒ母蛾ノ検査ハ顯微鏡ヲ用ヒテ之ヲ行フ

第二十八條 地方長官必要ト認ムルトキハ不越年普通蠶種ノ卵ノ検査ヲ行フコトヲ得

前項ノ検査ハ肉眼ニ依リ卵ト出殻繭トヲ對照シテ之ヲ行フ

第二十九條 地方長官ハ左記各號ノ一ニ該當シタル場合ニ於テハ其ノ蠶種

ニ對シ卵ノ顯微鏡検査ヲ行フコトヲ得

一 有毒蛾區ノ切拔多キ特別蠶種ヨリ掃立タルコト

二 微粒子病ニ罹レル蠶兒蠶蛹又ハ蠶蛾多キコト

三 蠶絲業法第八條第二號又ハ第三號ニ該當シタル繭多キコト

四 蠶絲業法第八條ニ違反シタル疑アルコト

五 特別蠶種ノ母蛾ノ取替若ハ混亂ノ疑アルコト

第三十條 普通蠶種ノ卵ノ顯微鏡検査ハ蠶種一枚ニ付十鏡面ヲ檢シ三鏡面以上ノ微粒子ヲ發見シタルトキハ其ノ蠶種ハ之ヲ不合格トス

特別蠶種ノ卵ノ顯微鏡検査ハ母蛾検査ニ於テ無毒ト認メラレタル區毎ニ一鏡面ヲ檢シ十分ノ一區未滿ノ微粒子ヲ發見シタルトキハ其ノ區ハ之ヲ不合格トシ十分ノ一區以上ノ微粒子ヲ發見シタルトキハ特別用印ヲ取消シ之ヲ普通蠶種トス

第三十一條 地方長官第二十九條ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ同一ノ種繭證明書ヲ有スル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニシテ其ノ製造額ノ十分ノ二ニ相當スル數量ニ付前條ノ規定ニ依ル検査ヲ行ヒ特別蠶種ニ在リテハ其ノ十分ノ五以上ヲ普通蠶種ニ、普通蠶種ニ在リテハ其ノ全部ヲ不合格ニ爲シタルトキハ其ノ製造ノ全部ニ對シ同一ノ處分ヲ爲スコトヲ得但シ

此ノ場合ニ於テ第三十四條第二項ニ依リ區別シタル種繭ニ對シ各別ニ交附シタル種繭證明書ハ之ヲ同一ノモノト看做ス

前條第二項又ハ前項ノ規定ニ依リ特別蠶種ヲ普通蠶種ニ爲シタル場合ニ於テ其ノ蠶種ノ産卵區ニ押捺シタル無毒印ハ之ヲ取消ス

第三十二條 地方長官必要ト認ムルトキハ第三十條第二項、前條第一項、第五十四條又ハ第五十五條第二項ノ規定ニ依リ普通蠶種ト爲シタル蠶種ニ對シ第三十條第一項ノ規定ニ依ル検査ヲ行フコトヲ得

第三十三條 收繭後ノ検査、越年特別蠶種及普通蠶種ノ卵ト出殻繭ノ検査ハ蠶種製造場所ニ付之ヲ行ヒ母蛾ノ検査、第三十條ノ検査及不越年特別蠶種ノ卵ト出殻繭ノ検査ハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フ但シ地方ノ情況ニ依リ不越年特別蠶種ノ卵ト出殻繭ノ検査ヲ蠶種製造場所ニ於テ行フコトヲ得

第三十四條 蠶種製造者ハ收繭後ノ検査ヲ受クル前種繭トナサムトスルモ

ノヲ選別シ其ノ楯量ト收繭總楯量トヲ量定シ且蠶絲業法第八條第一號乃至第三號ニ該當スル繭及種繭ト爲ササル繭ノ殺蛹ヲ爲スヘシ

第七十四條ノ審査ヲ受ケムトスルモノハ前項ノ種繭トナサムトスル繭ニ付審査ヲ受ケムトスルモノト否トヲ區別スヘシ

第三十五條 蟻量一匁ニ對シ收繭ノ量一化性ニ在リテハ二斗未滿、二化性ニ在リテハ一斗六升未滿、多化性ニ在リテハ一斗三升未滿ナルトキハ蠶絲業法第八條第四號ニ該當スルモノトス

第三十六條 翅肢ノ缺如若ハ萎縮、鱗毛ノ剝脫、體色ノ異變又ハ腹部ノ過大其ノ他形態ノ整ハサル蛾ハ蠶絲業法第八條第五號ニ該當スルモノトス

第三十七條 蠶種製造者ハ收繭後ノ検査ヲ終ル迄掃殻及繭ヲ、産卵後ノ検査ヲ終ル迄出殻繭ヲ蠶種製造場所以外ニ搬出スルコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合又ハ讓渡シタル蠶兒ニ對スル掃殻ハ此ノ限りニ在ラス

第三十八條 蠶種製造者ハ化性、名稱、製造者又ハ製造場所ノ異ナル蠶種ヨリ産出シタル蠶兒、繭、蛾、卵、飼育場所ノ異ナル蠶兒、繭、蛾、卵ヲ混同スルコトヲ得ス

地方種繭審査會ノ審査ヲ受ケムトスル種繭、其ノ審査ニ合格シタル種繭及其ノ蛾、卵ニ在リテモ亦同シ但シ收繭後ノ検査ヲ終リタル繭ニシテ種繭ニ非サルモノ、産卵後ノ検査ヲ終リタル出殻繭及特別蠶種ノ母蛾ヲ除クノ外蠶種製造ニ供用シタル蛾ハ此ノ限リニ在ラス

第三十九條 地方長官ハ蠶種製造者ニ對シ化性又ハ名稱ノ異ナル蠶蛾ヲ用キル掛合蠶種ノ製造ヲ許可スルコトヲ得

第四十條 掛合蠶種ノ化性ハ雌蛾ニ依リ名稱ハ雌蛾若ハ雄蛾ニ依リ掛合ナル文字ヲ冠スヘシ

第四十一條 蠶種製造者ハ地方長官ノ許可ヲ得テ第二十三條第二項ノ規定ニ依リ襲用スヘキ化性及名稱ヲ變更スルコトヲ得

前項ニ依リ許可ノ出願アリタルトキハ地方長官ハ當該官吏吏員ヲ臨檢セシメ適當ト認メタルトキハ其ノ許可ヲ與フヘシ

第四十二條 收繭後ノ検査ニ合格シタル繭ニ對シテハ其ノ繭ヲ産出シタル蠶種ノ化性、名稱、製造者、製造場所又ハ蠶兒ノ掃立時期、飼育場所ノ異ナルモノ毎ニ、第三十四條第二項ノ場合ニ於テハ各別ニ様式第七號種繭證明書ヲ蠶種製造者ニ下附シ検査ヲ終リタル掃殻ノ臺紙ニハ様式第八號掃殻検査濟印ヲ押捺ス

掛合蠶種ノ製造ニ供用スヘキ種繭及第四十一條第二項ノ規定ニ依リ名稱ノ變更ヲ許可シタル種繭ノ樹量ハ之ヲ種繭證明書ニ記載スヘシ

第四十三條 蠶種製造者種繭證明書ヲ毀損シ又ハ亡失シタルトキハ所轄蠶業取締所ニ其ノ再下付ヲ請求スルコトヲ得

但シ毀損シタル種繭證明書ハ其ノ請求書ニ添付スヘシ  
前項ノ規定ニ依リ再下付ヲ爲シタル種繭證明書ニハ様式第九號再下附印

ヲ押捺ス

第四十四條 蠶種製造者種繭ヲ他人ニ讓渡サムトスル場合ニ於テ其ノ讓受人蠶種製造者ナルトキハ雙方連署シ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ニ、種繭ノ全部讓渡ニ付テハ種繭證明書ノ書換ヲ、一部ノ讓渡ニ付テハ讓渡人ハ種繭證明書ノ書換ヲ、讓受人ハ種繭證明書ノ下附ヲ請求シ其ノ讓受人蠶種製造者ニ非サルトキハ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ニ種繭ノ全部讓渡ニ付テハ種繭證明書ヲ返納シ一部ノ讓渡ニ付テハ其ノ書換ヲ請求スヘシ

前項ノ規定ニ依リ種繭ノ授受ヲ終リタルトキ讓受人蠶種製造者ナルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ所轄蠶業取締所ニ届出ツヘシ

第一項ノ書換又ハ下付ヲ爲シタル場合ニ於テ讓受人蠶種製造者ニシテ讓渡人ト蠶業取締所ノ管轄ヲ異ニスルトキハ蠶業取締所ハ其ノ旨ヲ遲滯ナク讓受人ノ所轄蠶業取締所ニ通知スヘシ

第四十五條 蠶種製造者不越年蠶種ノ種繭證明書ノ下付ヲ受ケタルトキハ

臺紙及種繭證明書ヲ所轄蠶業取締所ニ差出シ特別用印又ハ普通蠶種検査合格證印ノ押捺ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ様式第十號特別用印又ハ様式第十一號普通蠶種検査合格證印ヲ臺紙ノ裏面ニ押捺シ特別用及普通用ノ臺紙ノ數竝普通蠶種ノ産卵蛾數ヲ種繭證明書ニ記載ス

第三十條第二項又ハ第三十一條第一項ノ規定ニ依リ普通蠶種ト爲スヘキ不越年蠶種ニハ様式第十一號普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス

不越年蠶種ノ特別用印、特別蠶種検査合格證印又ハ普通蠶種検査合格證印ハ産卵後ノ検査又ハ第二十八條第二項ノ検査ニ合格セサルトキハ現存セサル蠶種ニ付テハ之ヲ無効トシ現存セル蠶種ニ付テハ之ヲ取消シ其ノ蠶種ヲ不合格トス

第四十六條 不越年蠶種ニシテ産卵後ノ検査又ハ第二十八條第二項ノ検査ニ合格シタル出殻繭ニ對シテハ其ノ種繭證明書ニ様式第十二號出殻繭檢

查濟印ヲ押捺ス

蠶種製造者不越年蠶種ノ製造ニ供用セサル臺紙アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル證印ノ取消ヲ受クヘシ

第四十七條 蠶種製造者不越年特別蠶種ノ母蛾ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ製造後遲滯ナク蠶種及母蛾ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

前項ノ蠶種ノ産卵後ノ検査ヲ受ケムトスルトキ蠶種及出殻繭ニ付亦同シ但第三十三條但書ノ場合ニ在リテハ此ノ限リニ在ラス

第四十八條 産卵後ノ検査ニ合格セサル蠶種、第二十八條第二項ノ検査ニ合格セサル蠶種、第三十條第一項、第三十一條第一項及第四十五條第四項ノ規定ニ依ル不合格蠶種ニハ様式第十三號不合格印ヲ其ノ臺紙ノ裏面ニ押捺ス

第四十九條 越年蠶種ニシテ産卵後ノ検査又ハ第三十條第一項ノ検査ニ合格シタルトキハ特別蠶種ニ在リテハ様式第十號特別用印ヲ、普通蠶種及

第三十條第二項又ハ第三十一條第一項ノ規定ニ依リ普通蠶種トスヘキモノニ在リテハ様式第十一號普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス

越年蠶種ノ産卵後ノ検査ニ合格シタル出殻繭ニ對シテハ其ノ種繭證明書ニ様式第十二號出殻繭検査濟印ヲ押捺ス

第五十條 蠶種製造者越年特別蠶種ノ母蛾ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ蠶種及母蛾ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

第五十一條 母蛾ノ顯微鏡検査ニ於テ微粒子ヲ發見シタルトキハ様式第十四號有毒印ヲ、微粒子ヲ發見セサルトキハ様式第十五號無毒印ヲ其ノ産卵シタル區ニ押捺シ其ノ有毒印ヲ押捺シタル區ハ之ヲ不合格トス

母蛾ノ亡失又ハ混亂シタル區ニハ様式第十六號缺蛾印ヲ押捺ス

有毒印又ハ缺蛾印ヲ押捺シタル區ハ之ヲ除去シタル後臺紙ノ裏面ニ様式第十七號特別蠶種検査合格證印ヲ押捺ス

第五十二條 蠶種製造者前條第三項ノ規定ニ依リ除去セラレタル區又ハ自

己ノ必要ニ依リ除去シタル區ニ無毒ノ印ヲ押捺セラレタル區ヲ填補セムトスルトキハ所轄蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ原蠶種以外ノ特別蠶種ニシテ母蛾検査前ニ於テ化性、名稱ヲ記載シ無毒ノ印ヲ押捺セラレタル區ヲ以テ同一ノ種繭證明書ヲ有スル種繭ヨリ製造セラレタル蠶種ニ填補セムトスルトキハ蠶業取締所以外ノ場所ニ於テ之ヲ行フコトヲ得前項ニ依リ填補シタル區ニハ其ノ繼目ニ様式第十八號繼印ノ押捺ヲ受クヘシ

第五十三條 蠶種ヲ截斷シテ讓渡サムトスル者ハ其ノ臺紙ノ裏面ニ截斷スヘキ部分ヲ區劃シ各部ニ第二十三條ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ記載シ検査合格證印ノ押捺ヲ、原蠶種ニアリテハ尙原蠶種印ノ押捺ヲ受クヘシ

第五十四條 蠶種製造者特別蠶種ノ製造ニ供用シタル母蛾亡失又ハ混亂シタルトキハ其ノ蠶種ニ對シ普通蠶種検査合格證印ノ押捺ヲ請求スルコト

ヲ得

第五十五條 地方長官ハ特別蠶種ノ母蛾ニ高熱ヲ加ヘ又ハ故意若ハ過失ニ依リ顯微鏡検査ヲ困難ナラシメタルモノニハ母蛾ノ検査ヲ拒ムコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知スヘシ

蠶種製造者ハ前項ノ規定ニ依リ母蛾ノ検査ヲ受クルコトヲ得サル蠶種ニ對シ普通蠶種検査合格證印ノ押捺ヲ請求スルコトヲ得

第五十六條 蠶絲業法第十五條又ハ本則第三十條第二項、第三十一條第一項、第四十五條第四項及第四十六條第二項ノ規定ニ依リ證印ヲ取消サムトスルトキ又ハ第五十四條若ハ前條第二項ノ規定ニ依リ普通蠶種検査合格證印ノ押捺ヲ請求シタル爲特別用印ノ必要ナキトキハ其ノ證印ノ上ニ様式第十九號消印ヲ、第三十一條第二項ノ規定ニ依リ無毒印ヲ取消サムトスルトキハ其ノ證印ノ上ニ様式第二十號消印ヲ押捺ス

第五十七條 第二十條、第二十一條及第三十八條ノ規定ハ蠶種製造者カ蠶

種ノ製造ニ供用セサル蠶兒ヲ飼育スル場合ニ於テ其ノ蠶兒及繭ニ之ヲ適用セス

第五十八條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造シ其ノ蠶兒ヲ飼育シ得ヘキ地方ハ農商務大臣之ヲ指定ス

前項指定地域内ニ於テ自家用蠶種ヲ製造シ其ノ蠶兒ヲ飼育セムトスル者ハ蠶絲業法第十六條第二項ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第五十九條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造セムトスル者ハ其ノ旨ヲ毎年蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ爲シタル者届出事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ本人ヨリ本人死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第六十條 自家用蠶種ニハ框製ニアリテハ臺紙ノ表面ニ、普通製ニ在リテハ臺紙ノ裏面ニ化性、名稱、自家用ノ文字及製造者ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ

第六十一條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造シタル者ハ化性、化期、名稱及框製、普通製ノ別ニ依リ其ノ製造額ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第六十二條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造スル者ニハ蠶絲業法第八條第一號乃至第五號ノ規定ヲ準用ス

第六十三條 地方長官必要ト認ムルトキハ自家用ノ爲蠶種ヲ製造スル者ニ對シ蠶絲業法及本則ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第六十四條 農會、蠶絲業ニ關スル組合其ノ他ノ團體ハ蠶絲業法ト同一ノ目的ヲ以テ検査合格ノ證印アル蠶種ヲ検査スルコトヲ得ス但シ蠶絲業ニ關スル同業組合ニシテ組合員ノ製造シタルモノニ限り希望ニ依リ普通蠶種又ハ自家用蠶種ノ卵ノ顯微鏡検査ヲ行フコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ其ノ蠶種ノ臺紙ニ病毒歩合ヲ記載スルノ外合否ノ決定ヲ爲シ又ハ殺卵若ハ燒棄ヲ爲スコトヲ得ス

第六十五條 學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲナサムトスル者



ハ農商務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニシテ蠶絲業法第四條

第一項ノ適用ヲ免レムトスル者前項ニ同シ

第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニハ第十四條及第十五條ノ規定ヲ準用ス

第六十六條 前條第一項及第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル者ハ左

ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一 氏名若ハ名稱及住所又ハ所在地

二 研究ノ目的

三 研究ノ期間

四 研究ノ方法

五 研究ニ従事スル者及之ヲ主管スル者ノ氏名並履歴ノ要領

前條第二項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ尙其ノ適用ヲ免レムトスル範圍ヲ

記載スヘシ

前條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル學校、講習所、

試験場等ハ其ノ校長、所長、場長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ以テ主管者トシ

直接執務ノ任ニ當ル職員ヲ研究ニ従事スル者ト看做ス

第六十七條 學術研究ノ爲蠶種ノ移入又ハ輸入ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ

其ノ都度前條第一項ノ各號ニ掲クル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル申請

書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但シ第六十五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ

依ル許可ト同時ニ若ハ其ノ後ニ此ノ許可ヲ受ケムトスル場合ニシテ前條

第一項ノ各號ニ掲ケタル事項同一ナルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載ス

ルヲ以テ足ル

一 移入又ハ輸入スヘキ蠶種ノ製造地及名稱

二 移入又ハ輸入スヘキ蠶種ノ數量

農商務大臣ハ前項第二號ノ數量ヲ制限スルコトヲ得

第六十八條 國、道府縣、郡市、其ノ他ノ團體ニ於テ設置シタル學校、講

習所又ハ試験場等ニシテ蠶絲業ニ關スル學識經驗アル專任職員三人以上ヲ有シ蟻量十五匁以上ヲ飼育スルニ適當ナル蠶室蠶具其ノ他ノ設備ヲ有スルトキハ第六十五條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ得テ製造シタル蠶種ヲ農商務大臣ノ許可ヲ受ケ配付スルコトヲ得  
前項ノ許可ヲ受ケ配付スヘキ蠶種ノ數量ハ農商務大臣之ヲ制限スルコトヲ得

第六十九條 前條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ左

- 一 蠶室、蠶具、桑園其ノ他ノ設備
- 二 蠶種ノ製造、検査及配付ニ關スル規定
- 三 蠶種ノ配付豫定額
- 四 蠶種ヲ配付セムトスル期間
- 五 養蠶及蠶種製造ニ關スル職員ノ氏名及履歷ノ要領

第七十條 第六十六條第一項及前條ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第六十五條第一項第二項又ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル者中途學術ノ研究又ハ蠶種ノ配付ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第七十一條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ第六十五條第一項第二項又ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第七十二條 道府縣ニ於テ蠶種ノ製造ヲ爲サムトスルトキハ左ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更シ若ハ廢止シタルトキ亦同シ

- 一 製造場所ノ名稱及所在地
- 二 蠶室蠶具桑園其ノ他ノ設備
- 三 蠶種ノ製造検査及配付ニ關スル規定
- 四 蠶種ノ製造ニ從事スヘキ技術者ノ氏名及履歷ノ要領

第七十三條 第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試驗場等ハ配付蠶種ノ臺紙ニ様式第二十一號ノ證印ヲ、道府縣ハ其ノ配付蠶種ノ臺紙ニ様式第二十二號ノ證印ヲ押捺シ其ノ製造及検査ノ方法ハ本則中特別蠶種ニ關スル規定ニ準スヘシ

前項ノ蠶種ハ蠶絲業法第十二條ニ依リ特別蠶種ト指定シタル者ト看做ス  
第七十四條 原蠶種ヲ製造セムトスル蠶種製造者ハ其ノ種繭ニ對シ地方種繭審査會ノ審査ヲ受クルコトヲ得

第七十五條 前條ノ審査ヲ受ケムトスル蠶種製造者ハ種繭審査請求書ヲ地方長官ニ、其ノ種繭ハ之ニ種繭證明書ヲ添付シ地方長官ノ指定シタル場所ニ差出スヘシ

第七十六條 地方長官ハ當該官吏吏員ヲシテ收繭後ノ検査ノ場合ニ於テ地方種繭審査會ノ審査ヲ受ケムトスル種繭ノ全部又ハ一部ニ封緘ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十七條 蠶種製造者ハ種繭證明書ナキ種繭ニ付第七十四條ノ審査ヲ請求スルコトヲ得ス

蠶種製造者ハ自己ノ生産セサル種繭ヲ以テ原蠶種印ノ押捺ヲ受クヘキ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス但シ郡市、郡市以上ヲ地域トスル農會又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ハ此ノ限リニ在ラス

第七十八條 地方種繭審査會ノ審査ニ合格シタル種繭ノ種繭證明書ニハ様式第二十三號種繭審査合格證印ヲ押捺ス

第七十九條 地方種繭審査會ノ審査ニ合格シタル種繭ヲ以テ製造シタル特別蠶種ノ母蛾検査ヲ請求スル爲第四十七條第一項又ハ第五十條ノ規定ニ依リ蠶種及母蛾ヲ蠶業取締所ニ差出サムトスル者ハ之ニ其ノ蠶種ノ製造ニ供用シタル種繭ノ種繭證明書ヲ添付スヘシ

第八十條 地方種繭審査會ノ審査ニ合格シタル種繭ヲ以テ製造シタル特別蠶種ニハ第五十一條第三項ノ處分ヲ爲シタル後様式第二十四號原蠶種印

ヲ押捺ス

道府縣ハ其ノ製造シタル原蠶種ニ様式第二十五號原蠶種印ヲ押捺スヘシ

第八十一條 蠶種製造者原蠶種印アル蠶種ヲ蠶種製造者以外ノ者ニ讓渡サ

ムトスルトキハ蠶業取締所ニ於テ原蠶種印ノ取消ヲ受クヘシ但シ道府縣

ノ製造ニ係ハルモノハ道府縣之ヲ取消スヘシ

前項ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ原蠶種印ノ上ニ様式第十九號消印ヲ押

捺スヘシ

第八十二條 道府縣ニハ本則中第五條、第六條、第七條、第十條、第十七

條、第十九條第二項、第七十五條及第七十七條ノ規定ヲ適用セス

第八十三條 蠶絲業法第二十一條ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケムトスル者ハ免

許願書ニ左ノ事項ヲ記載シ冷蔵ノ場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ差出

スヘシ

一 氏名若ハ名稱及住所

二 管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名、住所及履歴ノ要領

三 冷蔵ノ場所所在地及名稱ヲ附シタルトキハ其ノ名稱

四 風穴、氷室又ハ冷蔵装置ノ構造並其ノ圖面

五 冷蔵シ得ヘキ場所ノ容積及蠶種ノ數量

六 冷蔵ノ始期及終期ノ豫定月日

七 前期ノ冷蔵期間ニ於ケル溫度及濕度

地方長官蠶種冷蔵業ノ免許ヲ與ヘタルトキハ様式第二十六號ノ免許證ヲ

下附スヘシ

第八十四條 前條ノ免許ヲ受ケタル者死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ、

中途廢業シ又ハ免許願書ニ記載シタル事項ヲ變更シタルトキハ本人ヨリ

遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前項死亡ノ場合ニ於テ其ノ相續人被相續人ノ業務ヲ承繼セムトスルトキ

ハ其ノ旨届出ツヘシ

第八十五條 蠶種冷藏業者ハ蠶種ノ一時保管又ハ其ノ取扱ヲ爲ス場所ヲ設クルコトヲ要ス  
前項ノ場所ニハ火氣、有毒瓦斯其ノ他蠶種ニ危害ヲ及ホスヘキ虞アル狀況ヲ防止スヘシ

第八十六條 蠶種冷藏業者ハ其ノ冷室ニ左記各號ニ該當スル施設ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 正確ナル寒暖計及檢濕計ヲ備フルコト
- 二 蠶種ノ容器ヲ配置スル爲内部ニ棚ヲ設クルコト
- 三 蠶種ヲ收容スヘキ室ハ亞鉛板等ニテ張ルカ又ハ蠶種ノ容器ヲ亞鉛板及木材ヲ用ヒタル二重箱トシ密閉シ得ル構造ト爲スコト
- 四 容器ニ蠶種ヲ藏ムルニハ蠶種一枚ニ付特別蠶種ニ在リテハ一厘以上普通蠶種ニ在リテハ四厘以上ノ間隔ヲ保タシムルコト
- 五 蠶種ニ危害ヲ及ホスヘキ物ヲ同時ニ貯藏セサルコト

第八十七條 蠶種ノ冷藏ニ供用スヘキ冷室内ハ其ノ冷藏期間溫度ハ華氏三十二度以上四十度以下濕度ハ七十度以上九十八度以下ナルコトヲ要ス  
地方長官ハ越年蠶種ニ在リテハ冷藏ノ始期又ハ終期ニ依リ、不越年蠶種ニ在リテハ冷藏期間ノ長短ニ依リ前項ノ溫度又ハ濕度ヲ變更スルコトヲ得

第八十八條 蠶種冷藏業者ハ冷藏期間風穴又ハ氷室ヲ用キルトキハ三日毎ニ其ノ溫其ヲ、其ノ他ノ冷藏裝置ヲ用キルトキハ毎日其ノ最高最低溫度ヲ冷室ノ内氣外氣ニ分チ觀測シ毎年之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ  
地方長官ハ特別ノ事情アル者ニ對シ前項ノ觀測期日ニ據ラシメサルコトヲ得

第八十九條 死籠繭ヲ除ク外化蛹セサル生繭ハ之ヲ賣買スルコトヲ得ス但シ其ノ生繭ヲ搬出セシメサル場合ハ此ノ限リニ在ラス

第九十條 蠶種ノ行商ヲ爲サムトスル者又ハ營業者ニシテ店舖以外ノ場所

ニ於テ生繭ノ賣買ヲ爲サムトスル者ハ様式第二十七號ノ鑑札ヲ携帶スヘシ  
シ雇人其ノ他ノ從業者ヲシテ之ヲ爲サシムル場合ニ於テハ各從業者ニ様式第二十八號ノ鑑札ヲ携帶セシムヘシ

第九十一條 前條ノ規定ニ依ル鑑札ノ下付ハ住所地ノ地方長官ニ出願スヘシ

第九十二條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ルヘシ但シ特別ノ事情在ルトキハ此ノ限リニ在ラス

第九十三條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物產同業組合法施行規則第三條乃至第十條ノ規定ヲ準用シ同規則第十二條ノ規定ヲ適用セス但シ發起人ハ之ヲ組織スヘキ同業組合ノ代表者タルコトヲ要ス

前項ノ發起人ノ數ハ五名以上タルコトヲ要セス

蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ定款ニハ地區及營業ノ種類ヲ

記載スヘシ

第九十四條 蠶絲業同業組合中央會設置ノ發起人ハ之ヲ組織スヘキ同業組合聯合會及同業組合ノ代表者ニシテ其ノ數ハ十名以上タルコトヲ要ス

第九十五條 蠶絲業法第三十三條ニ依ル議員ノ定數、配當及其ノ選出方法ハ農商務大臣之ヲ告示ス

第九十六條 蠶絲業同業組合中央會ノ議員ヲ選舉セムトスルトキハ之ト同時ニ同數ノ補缺議員ヲ選舉スヘシ

第九十七條 蠶絲業同業組合中央會議員、其ノ補缺議員及特別議員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三年トス但シ議員缺員ノ場合ニ於テ補缺議員ヲ以テ補充シタルトキハ其ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

特別議員ノ任期ハ農商務大臣之ヲ伸縮スルコトヲ得

第九十八條 蠶絲業同業組合中央會ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ  
會長 一名

副會長 二名

評議員 若干名

第九十九條 會長、副會長ハ議員及特別議員中ヨリ議員及特別議員ニ於テ之ヲ選舉シ評議員ハ議員中ヨリ其ノ三分ノ二特別議員中ヨリ其ノ三分ノ一ヲ互選シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一百條 會長ハ會務ヲ總理シ會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故在ルトキハ之ヲ代理ス

副會長ハ定款ノ定ムル所ニ依リ會長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ及會務執行ノ狀況ヲ監査スルモノトス  
評議員ハ他ノ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第一百一條 蠶絲業同業組合中央會ノ事務權限ハ左ノ如シ

一 蠶絲業上ノ弊害ヲ矯正シ且蠶絲業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル方案ヲ調

査スルコト

二 蠶絲業ニ關スル法規ノ制定改廢施行ニ關シ意見ヲ表示スルコト

三 蠶絲業ニ關スル事項ニ付農商務大臣ノ諮問ニ應スルコト

四 内外蠶絲業ノ狀況及統計ヲ調査發表スルコト

五 其ノ他蠶絲業ノ改良發達上特ニ必要ナル事項ヲ行フコト

第一百二條 重要物產同業組合法施行規則第四條乃至第十一條、第十三條乃至第十九條及第二十一條乃至第二十四條ノ規定ハ蠶絲業同業組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ第十條、第十四條及第二十一條乃至第二十四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ地方長官ハ之ヲ農商務大臣トス

第一百三條 蠶絲業法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ物品ヲ收去セムトスルトキハ當該蠶種又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者、其ノ從業者、同居者若ハ鄰佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スヘシ  
收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ納メ又ハ結束ヲ爲シ之ニ封緘ヲ施行シ其ノ

品名、物品ヲ收去セラレタル者ノ氏名若ハ名稱、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏吏員及立會人之ニ署名捺印スヘシ立會人署名捺印セス又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第四百四條 地方長官當該官吏吏員ヲシテ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲サシメムトスルトキハ其ノ身分ヲ證明スル爲様式第二十九號ニ依ル證票ヲ携帶セシムヘシ

第四百五條 臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第四百六條 蠶種ノ製造ヲ爲シタル道府縣又ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所、試驗場等ハ毎年一月三十一日迄ニ様式第三十號ニ依リ前年ノ成績表ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第四百七條 地方長官ハ毎年五月十五日迄ニ前年度ノ蠶病豫防事務成績及蠶種冷藏業取締成績ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第四百八條 地方長官蠶絲業法及本則施行ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ農

商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第四百九條 道府縣ハ蠶絲業法第二十二條及府縣制第七十五條ノ規定ニ依リ

蠶業取締吏員及蠶種檢查吏員ヲ置クヘシ

第四百十條 本則ニ依リ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ蠶絲業同業組合中央會ヨリ差出スヘキモノヲ除キ地方長官ヲ經由スヘシ

第四百十一條 第七條第一項第二項、第十七條、第二十二條、第二十四條第一項、第三十七條、第三十八條、第四十六條第二項、第五十二條第二項、第五十九條第一項、第六十條、第六十四條、第七十七條第二項、第八十一條第一項、第八十九條又ハ第九十條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第四十六條第二項ノ規定ニ依ル消印ナキ者ヲ他人ニ讓渡シ若ハ情ヲ知リテ讓受ケタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ第十條、第六十一條、第八十八條第一項、第二十三條第三項ニ依ル不越年普通蠶種ニ關スル規定ニ違



反シタル者又ハ第八條、第五十九條第二項第七十條第一項又ハ第八十四條第一項ニ依リ願書、申請書又ハ届書記載事項ノ變更ノ届書ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

附 則

第一百十二條 本則ハ明治四十四年法律第四十七號蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年農商務省令第七號蠶病豫防法施行規則ハ之ヲ廢止ス

第一百十三條 本則施行前蠶病豫防法施行規則第十條ニ依リ爲シタル消毒ハ本則ニ規定スル方法ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第一百十四條 蠶種ノ臺紙ニ記載スヘキ文字記載ノ方法ハ明治四十六年十二月三十一日迄様式第四號又ハ第五號ニ依ラサルコトヲ得

普通蠶種ノ製造ニ供用スヘキ臺紙ノ寸法ハ明治四十六年十二月三十一日迄第二十五條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第一百十五條 蠶絲業法第四十八條ニ依リ指定スル地域左ノ如シ

釧路國、根室國、北見國禮文郡及千島

第一百十六條 蠶病豫防事務所カ検査ノ爲受理シタル原種ニシテ本則施行前其ノ検査ヲ終了セサル者ニ付テハ本則施行後ト雖尙蠶病豫防法ノ規定ニ依リ之カ處分ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ニ依リ検査シタル原種ハ蠶病豫防法ニ依リ検査シタルモノト看做ス

樣式

第一號

第 號

蠶種製造免許證

住所

氏名(名稱)

蠶絲業法第五條ニ依リ蠶種製造者タルコトヲ免許ス

年 月 日

道 府 縣 印

紙 縱六寸 橫八寸

第二號

業 種

住所

氏名(名稱)

蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭取扱場所

木札

縱一尺五寸以上 橫四寸以上 厚四分

第三號

飼育又ハ製造場所

蠶種製造者氏名(名稱)

蠶病消毒濟證

年 月 日

產業取 縮所印

紙 縱四寸 橫二寸

第四號 特別蠶種ノ臺紙ノ表面

上以分五

○	○	○	○	性 化 (藏冷)
○	○	○	○	越 年 不 越 年 ノ
○	○	○	○	稱 名
○	○	○	○	住 所 氏名(名稱)
○	○	○	○	
○	○	○	○	記 號、番 號
○	○	○	○	

五 寸

第五號 普通蠶種ノ紙ノ裏面

性(藏冷)		化(越年)	
別年ノ		越年ノ	
稱		名	
住所		住所	
氏名(名稱)		氏名(名稱)	
製造場所		製造場所	
蛾數		蛾數	
月日		月日	
產卵		產卵	
產卵		產卵	

第六號



圓形 直徑五分 肉色朱

第七號

種繭證明書 第(記號)

住所	蠶種製造者	氏名(名稱)
	飼育ノ場所	
一原蠶種ノ製造場所	二化性及化期	三名稱
四種繭樹量	五一升ノ顆數	六發蛾ノ歩合
右種繭検査ニ合格シタルコトヲ證ス	年 月 日	
道府縣蠶業取締所印		
(蠶業取締官吏 印)		

紙四寸 縱六寸 橫

注意

種繭移動ノ場合ニ於テハ其ノ種繭ヲ生産シタル者ノ住所氏名(名稱)及此ノ様式以外ハ記載スヘキ事項ハ其ノ裏面ヲ用キ月日ヲ記シ蠶業取締官吏(吏員)之ニ捺印スヘシ

號八第



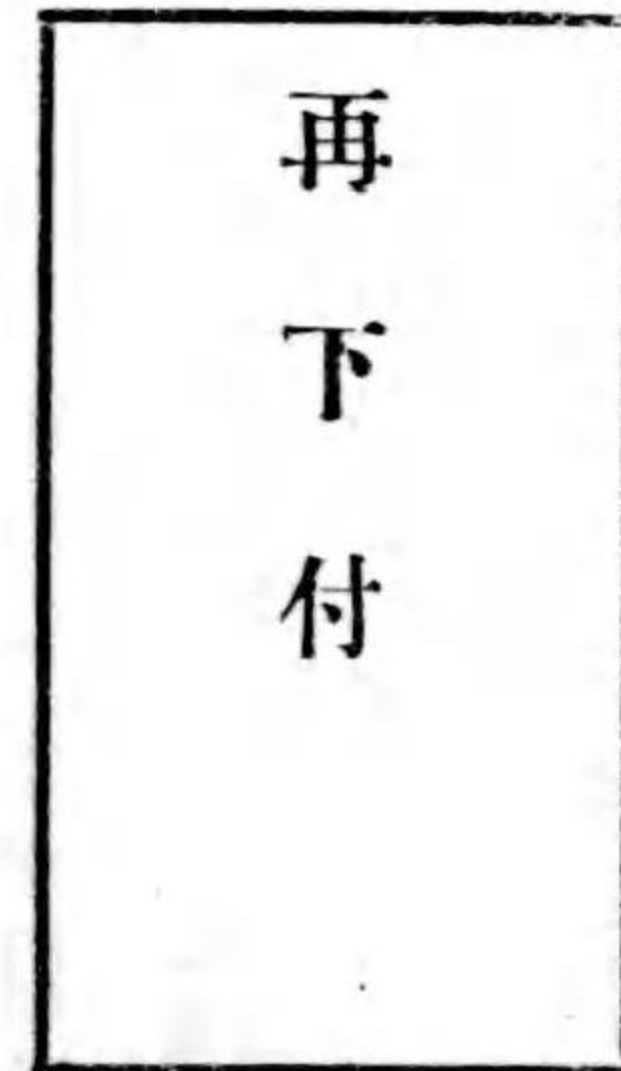
橢圓形  
長徑一寸  
短徑六分  
肉色黑

號十第



圓形  
直徑七分  
肉色朱

號九第



長方形  
長一寸二分  
橫五分  
肉色朱

號一十第



橢圓形  
長徑一寸五分  
短徑一寸  
肉色朱

號二十第



橢圓形  
長徑一寸  
短徑六分  
肉色黑

號三十第



長方形  
長一寸  
橫五分  
肉色黑

號四十第



長方形  
長三分  
橫二分  
肉色黑

號五十第



圓形  
直徑二分五厘  
肉色朱

號二十二第



圓形  
直徑一寸五分  
肉色朱

號十二第



圓形  
直徑二分五厘  
肉色黑

號一十二第



圓形  
直徑一寸五分  
肉色朱

號三十二第



隋圓形  
長徑一寸五分  
短徑一寸  
肉色朱  
內外線ヲ細ク  
肉線ヲ太クシ

號六十第



圓形  
直徑二分五厘  
肉色青

號八十第



隋圓形  
長徑三分  
短徑二分  
肉色朱

號七十第



圓形  
直徑一寸五分  
肉色朱

號九十第



長方形  
長一寸五分  
橫五分  
肉色黑

號四十二第



圓形 直徑一寸五分  
肉色青  
外線ノ二線中  
外線ヲ太クシ  
内線ヲ細クス

號五十二第



圓形 直徑一寸五分  
肉色青  
外線ノ二線中  
外線ヲ太クシ  
内線ヲ細クス

號六十二第

第 號

蠶種冷藏免許證

住所

氏名(名稱)

蠶絲業法第二十一條ニ依リ  
蠶種冷藏業ヲ免許ス

年 月 日

道府縣 印

紙 縱六寸 横八寸

蠶絲業法施行規則

號七十二第

裏 面 表 面

第 號

蠶種行商者(生繭賣買者)之證

年月日

住所

業種氏名

生年月日

道府縣 印

厚紙 縱三寸 横二寸

六十七

第十二號

裏面 表面

蠶種行商者(生繭賣買者)從業者之證  
 年月日

厚紙 縱三寸 橫二寸

第 號  
 住所  
 業種  
 右從業者氏名  
 道府縣印  
 生年月日

第十二號

裏面 表面

第 號  
 蠶業取締官吏(吏員)證票  
 年月日  
 道府縣印

厚紙 縱三寸 橫一寸八分

官職氏名

第十三號

明治 年成績表		道府縣、學校、講習所、試驗場等ノ名稱	
性	化	稱	名
期	化	蛾數	掃立
		蟻量	掃立
		種繭	收繭
		其他	繭額
		計	額
		合格	蠶種製造額
		其他	額
		計	額

勅令第二百十四號

明治四十四年七月二十八日

蠶種検査手数料徴收ニ關スル勅令

第一條 蠶絲業法ニ依リ蠶種検査ニ關シ徴收スヘキ手数料ハ特別蠶種ニ在  
リテハ一枚ニ付三錢、其他ノ蠶種ニ在リテハ一枚ニ付二錢トス

第二條 手数料ハ特別蠶種ニ在リテハ其ノ母蛾ノ検査ヲ、其ノ他ノ蠶種ニ  
在リテハ其ノ産卵後ノ検査ヲ行ヒタル府縣又ハ北海道地方費ニ於テ之ヲ  
徴收スヘシ

附 則

本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス



農商務省訓令第十九號

明治四十四年十二月十六日

### 蠶絲業法施行事務取扱規程

- 第一條 蠶業取締所ニハ様式第一號ニ準シ蠶種製造者臺帳、様式第二號ニ準シ蠶種冷藏業者臺帳、様式第三號ニ準シ生繭取扱者臺帳、様式第四號ニ準シ検査臺帳、様式第五號ニ準シ鑑札下付臺帳ヲ備ヘ置クヘシ
- 種繭審査會ヲ設ケ種繭ノ審査ヲ爲ス道府縣ニ在リテハ様式第六號ニ準シ原蠶種製造臺帳ヲ備ヘ置クヘシ
- 第二條 當該官吏吏員ハ蠶種製造者カ蠶室蠶具ノ消毒ヲ施行スルトキ、蠶兒ノ掃立ヲ終リタルトキ、蠶兒ノ五齡期ニ達シタルトキ又ハ種繭ヨリ蛾ノ發出シタルトキ蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所又ハ蠶種製造場所ヲ臨檢シ生繭取扱者カ生繭ノ取扱ニ従事スルトキ其ノ取扱場所ヲ臨檢スヘシ
- 當該官吏吏員必要ト認ムルトキハ養蠶者カ蠶兒ヲ飼育スル場所ニ臨檢ス

ヘシ

第三條 當該官吏吏員、臨檢及検査ヲ爲シタルトキハ蠶業取締所ヨリ交付セラレタル手簿ニ其ノ要領ヲ記入シ所長又ハ主事ノ閱覽ヲ受クヘシ

第四條 當該官吏吏員床下ニ蠶蛆若ハ其ノ蛹潜伏ノ虞アルコトヲ認メタルトキハ床下掃除ヲ命シ其ノ塵芥ノ處理ヲ爲サシムヘシ但シ床下ノ周圍ニ蠶蛆蠅ノ飛散ヲ防クニ足ル完全ナル設備ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 蠶絲業法施行規則第二十一條第三項及第四十四條第三項ニヨル通知書ニハ其ノ以前ニ於ケル經過ヲ附記スヘシ

同一蠶種製造者ノ蠶兒又ハ種繭カ他ノ蠶業取締所ノ管轄内ニ移動シタルトキハ其ノ以前ニ於ケル經過ヲ遲滞ナク通知スヘシ

第六條 繭量定ノ方法ハ柵ノ縁ヨリ量ラムトスル繭ノ短徑ノ半ハニ相當セル高サニ繭ヲ納ルルヲ標準トスヘシ

一柵ノ顆數ヲ定ムル方法ハ二升ノ繭ニ付其ノ顆數ヲ計算シテ之ヲ三分スヘシ

發蛾歩合ヲ定ムル方法ハ種繭百顆ヲ切開シ健全ナル蛹ノ數ヲ算シ之ヲ定ムヘシ

種繭ヲ以テ蠶種製造豫定額ヲ定ムル方法ハ特別蠶種ニ在リテハ發蛾歩合ニヨリ一柵ノ發蛾豫定數ヲ算シ其ノ半數ヲ種繭柵量ニ乘シ之ヲ定メ普通蠶種ニ在リテハ總發蛾豫定數ノ半數ヲ蠶種一枚ノ產卵蛾數ニテ除シ之ヲ定ムヘシ

出殻繭ヲ以テ蠶種製造額ヲ定ムル方法ハ特別蠶種ニアリテハ三柵ニ付平均一柵ノ發蛾顆數ヲ檢シ其ノ半數ヲ出殻繭總柵量ニ乘シ之ヲ定メ普通蠶種ニアリテハ總發蛾顆數ノ半數ヲ蠶種一枚ノ產卵蛾數ニテ除シ之ヲ定ムヘシ

第七條 蠶種製造者カ蠶兒ニ付シタル平假名ノ記號ヲ以テ其ノ蠶兒ヨリ產出シタル種繭ノ種繭證明書ニ記載スヘキ記號トスヘシ

第八條 蠶絲業法施行規則第三十條第一項ノ検査ヲナサムトスルトキハ蠶

種一枚ニ付其ノ全面ヨリ百粒以上ノ卵ヲ取り之ヲ十等分シ能ク磨潰シ其ノ各液ヲ以テ一鏡面ヲ供用スヘシ

蠶絲業法施行規則第三十條第二項ノ検査ヲ爲サムトスルトキハ無毒ト認メラレタル區ヨリ十粒以上ノ卵ヲ取り能ク磨潰シ其ノ液ヲ以テ一鏡面ニ供用スヘシ

第九條 母蛾ノ検査ヲナサムトスルトキハ母蛾ヲ番號ヲ付シタル乳鉢ニ入レ能ク磨潰シ一母蛾ノ液ヲ以テ一鏡面ニ供用スヘシ

卵又ハ母蛾ヲ磨潰セムトスルトキハ之ニ苛性加里稀薄液又ハ蒸留水少許ヲ加フヘシ

第十條 顯微鏡検査ニ於テ無毒ト決定セムトスルトキハ每鏡面ニ就キ五視野以上ヲ檢視スヘシ

第十一條 蠶業取締所ニ於ケル蠶種又ハ母蛾ノ貯藏、處理、取扱ノ場所及顯微鏡使用ニ供スル場所ハ時々消毒ヲ行ヒ検査用具ヲ洗滌シタル汚水ハ之

ニ消毒藥品ヲ投シ且ツ濫リニ他ニ放流スヘカラス

第十二條 當該官吏吏員ハ蠶絲業法施行規則第六十五條第一項第二項、第六十七條又ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニ付臨檢シ蠶絲業法及同法ニ基キテ發スル命令ニ違反セルヤ否ヤヲ檢シ違反セル場合ニ於テハ相當ノ處置ヲ爲スヘシ

第十三條 普通蠶種検査合格證印、特別用印又ハ特別蠶種検査合格證印ヲ押捺シタルトキハ其ノ印ノ下ニ當該官吏吏員ノ職印ヲ押捺スヘシ

樣式  
第一號

蠶種製造者臺帳	
免許指令番號	免許年月日
氏名若ハ名稱	蠶種製造者住所

蠶絲業法施行事務取扱規程

七十八

蠶室	室數	桑園ノ反別 又ハ桑葉量	掃立蟻量 概定數	蠶種製造額 概定數	蠶具ノ種 類及數	摘要
	面積	蠶種製造場所以外 ノ蠶兒飼育場所				
蠶種製造場所		蠶種製造場所以外 ノ蠶兒飼育場所	管理者氏名	住 所	蠶種製造者及管理 者履歴ノ要領	

第二號

蠶種冷藏業者臺帳

免許指令番號	免許年月日
氏名若ハ名稱	住 所
管理者ノ氏名	住 所
冷藏所ノ名稱	所 在 地

要 摘	冷藏裝置ノ種類	冷藏シ得ヘキ場所 容 積 ノ收容蠶種 數量	冷藏豫定月日	前期ノ冷藏期間ニ 於ケル溫度及濕度
		始 期 終 期		溫 度 濕 度

第三號

生繭取扱者臺帳

業 種	氏 名	任 所
	取扱豫定月日	生繭取扱 豫定數量
生繭取扱場所	開 所 閉 所	管理者氏名
月 日	月 日	備 考

第四號

検査台帳

氏名		住所		
製造場所 原蠶種製 場 原蠶種製造 者蠶種製 場ノ蠶種 名 日 月 日 量 蠶 記 上 收 總 蠶 量 一 種 繭 樹 量 除 同 證 明 書 番 號 合 無 毒 有 他 其 計 格 合 不 計 日 月 摘 要	飼 產 卵	養 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者	蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者	
	蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者	蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者	蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者	蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者 蠶 種 製 造 者

備考

一 臺帳ハ各化性各化期ニ付格別ニ調製スヘシ

二 種繭ヲ購入シテ製種シタル場合ニハ讓渡人ノ住所氏名ヲ飼育ノ場所ニ記載スヘシ

第五號

鑑札下付臺帳

鑑札下付	鑑札返納	業種	氏名	住所 (從業者ニ携帯セシムルトキハ其氏名)	備考
番號 年月日	年月日				

第六號

原蠶種製造臺帳

原蠶種製造者氏名		住所	
記號 化性 化期 名稱 審査合格 種繭樹量 原蠶種印 押捺枚數 同上 蠶數 原蠶種印 取消枚數 同上 蠶數 備考	原蠶種製造者氏名	住所	住所

農商務省告示第五百七十一號

蠶絲業法施行規則第十一條乃至第十四條、第十八條及第十九條ニ關スル病蠶及病原體ノ處理並消毒ノ方法ハ左ノ如シ

明治四十四年十二月六日

農商務大臣 男爵 牧野 伸 顯

蠶病豫防心得

第一條 蠶絲業法施行規則第十一條ニ依リ蠶蛆若ハ其ノ蛹ヲ壓殺、熱殺又

ハ水殺スル方法左ノ如シ

- 一 壓殺ハ形體ヲ破壞スルニ至ルヲ以テ度トス
- 二 熱殺ハ左記ノ方法ノ一ヲ選ムヘシ
  - 一 熱湯中ニ浸漬スルコト
  - 二 華氏二百十二度以上ノ蒸汽ニ接觸セシムルコト
  - 三 華氏百六十度以上ノ乾熱ニ十分間以上接觸セシメ又ハ燒棄スルコト

三 水殺ハ容器ニ滿タシタル水液中ニ蠶蛆ハ七十時間以上、其ノ蛹ハ百  
川十時間以上浸漬スヘシ

第二條 蠶絲業法施行規則第十二條ニ依ル蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ死體及  
死籠繭又ハ薄皮繭ノ處理方法左ノ如シ

一 「フォルマリン」ヲ用キル場合ニ在リテハ其ノ稀釋液(百分中蟻酸「ア  
ルデヒード」二分以上ヲ含有シ液溫華氏七十五度以上ノモノ)ニ投入  
シ六十時間以上之ヲ放置スヘシ

二 石灰水ヲ用キル場合ニ在リテハ生石灰一分ニ水九分以内ヲ加ヘタル  
モノニ投入シ百十五時間以上之ヲ放置スヘシ

三 熱湯ヲ用キル場合ニ在リテハ其ノ中ニ一時間以上浸漬シ若ハ五分間  
以上煮沸ヲ繼續スヘシ

四 乾燥ヲ行フ場合ニ在リテハ華氏百六十度以上ノ火熱又ハ蒸汽熱ヲ用  
キ生繭百匁ヲ四十匁以内ニ至ラシムヘシ

第三條 蠶絲業法施行規則第十三條ノ蠶病ノ蔓延ノ虞アル場合トハ病勢猖  
獗ニシテ蠶兒ノ過半病蠶トナリタル場合ヲ謂フ

第四條 蠶絲業法施行規則第十四條第二項ノ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ  
足ルヘキ容器トハ密閉シ得ヘキモノ又ハ密閉セサル箱、罐等ニシテ深サ  
二寸以上ヲ有スルモノヲ謂フ

但シ密閉セサル容器ノ縁ニ繭ノ接觸スル場合ニ於テハ其ノ繭ノ表面ヨ  
リ二寸以上ヲ保タシムヘシ

蠶絲業法施行規則第十四條第四項ノ塵芥ノ處理方法ハ之ヲ燒棄シ又ハ容  
器ニ滿タシタル水液中ニ百二十時間以上浸漬スヘシ

第五條 蠶絲業法施行規則第十八條ニ依ル蛾ノ乾燥ハ華氏百六十度以上ノ  
火熱又ハ蒸汽熱ニ三時間以上之ヲ接觸セシムヘシ、蛾ヲ熱湯「フォルマリ  
ン」若ハ石灰水中ニ投入セムトスルトキハ第二條第一號乃至第三號ニ準  
スヘシ

第六條 蠶絲業法施行規則第十九條ニ依ル蠶室蠶具ノ消毒方法左ノ如シ

一 「フオルマリン」撒布消毒法

一 蠶室ヲ消毒スルニハ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲其ノ周圍ヲ密閉シ消毒中華氏七十五度以上ノ溫度ヲ保タシムヘシ蠶室ノ内面百平方尺ニ對シ「フオルマリン」稀釋液（百分中蟻酸「アルデヒード」一分以上ヲ含有スルモノ）四百二十杯（二合二勺一才）ヲ撒布スヘシ但シ充分ニ密閉シ難キ室、撒布面ノ粗雜ナル室又ハ室内溫度ヲ七十五度ニ達セシメ難キ場合ニ於テハ「フオルマリン」撒布ノ量ヲ適宜增量スヘシ

「フオルマリン」ヲ撒布スルニハ噴霧器ヲ用ヒ天井ヨリ周圍ニ及ホシ最後床板ニ至リ撒布後尙十五時間以上之ヲ密閉スルヲ要ス

二 蠶具ヲ消毒スルニハ華氏七十五度以上ノ室内ニ於テ之ヲ行フヘシ

「フオルマリン」稀釋液（百分中蟻酸「アルデヒード」一分以上ヲ含

有スルモノ）ヲ蠶具ニ撒布スルニハ蠶網蠶筵及蠶箔ノ類ニ在リテハ一枚毎ニ、蠶架ノ類ニ在リテハ一箇毎ニ表裏全面ノ潤フ程度ニ之ヲ撒布シ順次堆積シテ相當ノ高サニ至ラハ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲菰、蕙等ヲ以テ周圍ヲ覆ヒ十五時間以上之ヲ放置スヘシ

二 蒸汽消毒法

桶箱等ニ蠶具ヲ容レ之レニ蒸汽ヲ通シ華氏二百十二度ニ達シタル後尙ホ三十分間以上同溫度ヲ保タシムヘシ

三 蟻酸「アルデヒード」瓦斯消毒法

蠶具ノ消毒ハ完全ニ密閉シ得ヘキ華氏七十五度以上ノ溫度ヲ保テル室内ニ於テ之ヲ行フヘシ

蠶具ヲ配置スルニハ間隔ヲ保タシムヘシ但シ蠶筵ニアリテハ皆川筵四百枚ヲ以テ限度トシ堆積スルコトヲ得厚筵一枚又ハ蠶網五枚ハ皆川筵二枚ニ相當スルモト看做ス消毒室ノ内面千立方尺ニ對シ「フ



オルマリシ」蒸發器又ハ其ノ他ノ器具ヲ以テ蟻酸「アルデヒード」瓦  
斯ヲ左ノ割合ニ依テ發散セシメ發散後尙ホ六時間以上之ヲ密閉スヘ  
シ

蠶箔及蠶筵(皆川筵) 蟻酸「アルデヒード」瓦斯量

百枚以下	一一五瓦
二百枚以下	一三〇
三百枚以下	一四五
四百枚以下	一六〇
五百枚以下	一八〇
六百枚以下	一九〇
七百枚以下	二〇〇
八百枚以下	二二〇

農商務省令第三十一號

蠶業取締所規程左ノ通定ム

明治四十四年十月十六日

農商務大臣 男爵 牧野伸顯

蠶業取締所規程

第一條 地方長官蠶業取締所ヲ設置セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依  
ル

第二條 蠶業取締所又ハ其ノ支所ハ道府縣内須要ノ地ニ之ヲ設ク但シ必要  
アル時期ニ限り其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得

第三條 蠶業取締所、支所及出張所ノ管轄區域及開閉月日ハ地方長官之ヲ定ム  
所長ハ技師又ハ技手ヲ以テ之ニ充ツ但シ農業技師ヲ以テ之ニ充ツルコト

ヲ妨ケス

所長ハ地方長官ノ命ヲ受ケ處務ヲ掌理シ主事ハ所長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ分掌ス

第四條 地方長官ハ蠶業取締所處務規程ヲ定メ之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第五條 地方長官ハ蠶業取締所、支所又ハ出張所ノ位置、管轄區域、開閉月日、所長又ハ主事ノ命免ヲ公示シ且農商務大臣ニ報告スヘシ

附 則

本令ハ蠶絲業法施行ノ日コリ之ヲ施行ス

農商務省告示第五百五十七號

明治四十四年十一月二十七日

自家用蠶種製造ノ指定地

蠶絲業法施行規則第五十八條第一項ニ依リ自家用ノ爲メ蠶種ヲ製造シノ其蠶兒ヲ飼育シ得ヘキ地方ヲ左ノ通り指定ス

北 海 道

石狩國	厚田郡	濱益郡
後志國	島牧郡	古宇郡
天鹽國	上川郡	中川郡
天鹽國	中川郡	天鹽郡
膽振國	千歲郡	白老郡
膽振國	千歲郡	幌別郡
十勝國	河東郡	上川郡
十勝國	河東郡	上川郡
十勝國	宗谷郡	技幸郡
十勝國	宗谷郡	網走郡
北見國	宗谷郡	斜里郡
北見國	紋別郡	常呂郡
		廣尾郡

自家用蠶種製造ノ指定地

自家用蠶種製造ノ指定地

九十二

日高國 一 圓

岐 阜 縣

益田郡 大野郡 吉城郡

青 森 縣

西津輕郡 北津輕郡

兵庫縣令第一號

蠶絲業法施行手續左ノ通定ム

明治四十五年一月十六日

兵庫縣知事 服 部 一 三

### 蠶絲業法施行手續

第一條 蠶業取締所及其ノ支所ノ名稱、位置及管轄區域ハ告示ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 蠶絲業法施行規則第二條ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ様式第一號ニ依リ願書ヲ知事ニ差出スヘシ

第三條 蠶絲業法施行規則第五條ノ届書ハ毎年三月十日迄ニ様式第二號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第四條 蠶絲業法施行規則第七條ノ届書ハ様式第三號ニ依リ生繭取扱ノ場所ヲ豫定シ毎年四月二十日迄ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ但シ之ヲ豫定シ得

蠶絲業法施行手續

九十三

シ  
ヘカラサル場合ハ其ノ理由ヲ具シ生繭取扱開始五日前ニ知事ニ差出スヘシ

第五條 蠶絲業法施行規則第九條ノ許可願書ハ相續人及被相續人連署ノ上  
戸籍謄本ヲ添附シテ之ヲ知事ニ差出スヘシ

被相續人死亡ノ場合ニ於テハ相續人前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 蠶絲業法施行規則第十九條ニ依ル蠶室及蠶具ノ消毒ハ蠶兒ノ掃立  
前之ヲ行ヒ様式第四號ニ依リ其ノ施行期日二十日前ニ之ヲ知事ニ届出ツ  
ヘシ

知事ハ前項ニ依リ届出タル施行期日ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第七條 蠶絲業法施行規則第二十條ノ掃立届ハ様式第五號ニ依リ遲滯ナク  
知事ニ差出スヘシ

第八條 蠶種製造者ハ原蠶種ノ化性、名稱、製造者、製造場所又ハ其ノ原  
蠶種ヨリ産出シタル蠶兒ノ掃立時期、飼育場所ノ異ナルモノ毎ニ平假名

ニ依ル記號ヲ附シ之ヲ前條ノ届書中ニ記載スヘシ

第九條 蠶絲業法施行規則第二十一條第一項ノ蠶兒讓渡許可申請書ハ様式

第六號ニ依リ、同條第二項ノ蠶兒讓渡證明書及蠶兒讓受證明書ハ様式第  
七號ニ依ル

第十條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第二十四條第一項但書ニ依リ蠶種ノ  
臺紙ニ記載シタル文字ノ訂正増加又ハ抹消ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ  
其ノ蠶種ヲ當該官吏員ニ、許可ヲ受ケムトスルトキハ様式第八號ノ臺  
紙記載事項變更許可願ニ其ノ蠶種ヲ添附シ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第十一條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ上簇ヲ終リタルトキハ様式第九號  
ニ依リ上簇届ヲ即日蠶業取締所ニ差出スヘシ但シ數回ニ上簇シタルトキ  
ハ其ノ都度之ヲ差出スヘシ

第十二條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ上簇後一化性ニ在リテハ十日以  
内ニ、二化性及多化性ニ在リテハ八日以内ニ繭ヲ選別シ様式第十號ニ依

リ收繭調書二通ヲ調製シ其ノ一通ヲ蠶業取締所ニ差出シ他ノ一通ヲ保管スヘシ

收繭後ノ検査前收繭調書ニ記載シタル事項ヲ變更シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第十三條 特別蠶種ニ附スヘキ記號ハ其ノ蠶種ノ製造ニ供用シタル繭ニ對スル種繭證明書ノ記號ヲ用キ母蛾及其ノ産卵區ニ附スヘキ符號ハ數字ヲ用ユヘシ

特別蠶種ノ母蛾ハ蠶業取締所ノ許可ヲ得タル容器ニ容レ之ニ其ノ蠶種ノ臺紙ト同一ノ記號、番號、化性、名稱及製造者ノ氏名若ハ名稱、住所ヲ記載スヘシ

第十四條 蠶絲業法施行規則第二十九條及第三十一條ニ依ル卵ノ顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス  
蠶種製造者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ期日迄ニ其ノ蠶種ヲ所轄

蠶業取締所支所ニ差出スヘシ

第十五條 蠶絲業法施行規則第三十七條但書ニ依ル許可ヲ得ムトスル者ハ様式第十一號ニ依リ搬出許可願ヲ知事ニ差出スヘシ

前項ノ出願アリタルトキハ當該官吏吏員ヲ臨檢セシメ様式第十二號ニ依リ搬出許可證ヲ交付ス

第十六條 蠶種製造者ハ化性又ハ名稱ノ異ナル蠶蛾ヲ以テ掛合蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス掛合蠶種製造ノ必要アル場合ニハ知事ニ於テ蠶種製造者ヲ指定シ之ヲ製造セシムルコトアルヘシ

第十七條 蠶絲業法施行規則第四十一條第一項ニ依リ蠶種ノ臺紙ニ記載スヘキ化性又ハ名稱ヲ變更セムトスル者ハ其ノ蠶兒ノ四眠以前ニ様式第十三號ニ依リ蠶種化性(名稱)變更願ヲ知事ニ差出スヘシ

前項ノ出願ヲ許可シタルトキハ様式第十四號ニ依リ許可證ヲ交付ス

第十八條 蠶絲業法施行規則第四十三條第一項及第四十四條第一項ニ依リ

種繭證明書ノ再下付又ハ書換、下付ヲ請求セムトスルトキハ様式第十五號ニ依リ種繭證明書再下付(又ハ書換、下付)請求書ヲ蠶業取締所ニ差出スヘシ

第十九條 蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ニ依リ不越年蠶種ノ臺紙ニ證印ノ押捺ヲ請求セムトスルトキハ様式第十六號ノ不越年蠶種臺紙捺印請求書ニ臺紙及種繭證明書ヲ添附シ蠶業取締所ニ差出スヘシ

第二十條 蠶絲業法施行規則第四十六條第二項ニ依リ證印ノ取消ヲ受ケムトスルトキハ其ノ臺紙ノ數ヲ記載シタル請求書ニ證印ノ取消ヲ受クヘキ臺紙ヲ添へ蠶業取締所ニ差出スヘシ

第二十一條 蠶絲業法施行規則第四十七條第一項及第二項ニ依ル検査ヲ受ケムトスルトキハ様式第十七號ノ不越年特別蠶種検査請求書ニ蠶種出殻繭及母蛾ヲ添附シ所轄蠶業取締所支所ニ差出スヘシ  
不越年普通蠶種ノ産卵後ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ様式第十八號ニ依

リ不越年普通蠶種検査請求書ヲ蠶業取締所ニ差出スヘシ

第二十二條 越年特別蠶種ノ母蛾検査ハ毎年七月二十日ヨリ之ヲ開始ス

第二十三條 越年特別蠶種ノ母蛾検査ヲ受ケムトスルトキハ様式第十七號ニ依リ七月十日迄ニ請求書ヲ蠶業取締所ニ差出スヘシ但シ七月十日以後ノ製造ニ係ル蠶種ニ在リテハ其ノ都度直ニ請求書ヲ差出スヘシ

検査ヲ受クヘキ母蛾及蠶種ノ差出期日ハ所轄蠶業取締所支所ヨリ蠶種製造者ニ通知ス

蠶種製造者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ母蛾及蠶種ヲ指定ノ期日ニ所轄蠶業取締所支所ニ差出スヘシ

越年蠶種ノ産卵後検査ヲ受ケムトスルトキハ様式第十八號ニ依リ越年蠶種産卵後検査請求書ヲ蠶業取締所ニ差出スヘシ

第二十四條 蠶絲業法施行規則第五十四條及第五十五條第二項ニ依リ證印ノ押捺ヲ請求セムトスルトキハ様式第十九號ニ依リ蠶種別變更請求書ヲ

蠶業取締所ニ差出スヘシ

第二十五條 蠶業取締所ニ於テ蠶種及母蛾ノ検査終リタルトキハ其ノ旨ヲ

蠶種製造者ニ通知ス

前項ノ通知アリタルトキハ蠶種製造者ハ遲滞ナク所轄蠶業取締所支所ニ就キ蠶種ノ返戻ヲ受クヘシ

第二十六條 蠶絲業法施行規則第四十五條第四項ニ依リ合格證印ノ無効ニ屬シタル蠶種ハ官報及縣報ヲ以テ之ヲ公示ス

第二十七條 蠶種製造場所ニ於テ受クヘキ検査ニハ蠶種製造者又ハ其ノ代理人之ニ立會フヘシ

第二十八條 蠶絲業法施行規則第七十五條ノ種繭審査請求書ハ様式第二十二號ニ依リ收繭後ノ検査ヲ終リタル後遲滞ナク之ヲ知事ニ差出スヘシ

第二十九條 審査ヲ受ケムトスル種繭ヲ差出スヘキ場所及期日ハ之ヲ告示ス

前項ノ場所及期日ニ差出ササル者ハ審査ノ請求ヲ抛棄シタルモノト看做ス

第三十條 種繭ノ審査ヲ終リタルトキハ種繭審査會ハ之ヲ蠶種製造者ニ通知ス

前項ノ通知アリタルトキハ蠶種製造者ハ遲滞ナク種繭ヲ差出シタル場所ニ就キ種繭ノ返戻ヲ受クヘシ

第三十一條 蠶絲業法施行規則第八十一條ニ依リ原蠶種印ノ取消ヲ請求セムトスルトキハ様式第二十一號ノ原蠶種印取消請求書ニ原蠶種ヲ添ヘ之ヲ所轄蠶業取締所支所ニ差出スヘシ

第三十二條 蠶絲業法施行規則第八十三條ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ様式第二十二號ニ依リ願書ヲ知事ニ差出スヘシ

第三十三條 蠶種冷蔵業者ハ越年蠶種ニ在リテハ冷蔵ノ始期二箇月間ノ最低溫度ヲ二十五度、其ノ終期二箇月間ノ最高溫度ヲ四十二度又ハ一箇月間

ノ最高溫度ヲ四十五度トシ、不越年蠶種ニ在リテハ冷蔵期間十日以内ノ場合ニハ最高溫度ヲ五十度トシ、十五日以内ノ場合ニハ之ヲ四十五度トスルコトヲ得

第三十四條 蠶種冷蔵業者ハ蠶種冷蔵成績及蠶絲業法施行規則第八十八條第一項ノ届書ヲ様式第二十三號ニ依リ毎年十二月末日迄ニ知事ニ差出スヘシ

第三十五條 蠶絲業法施行規則第九十一條ニ依リ鑑札ヲ受ケムトスル者ハ様式第二十四號ニ依リ鑑札下付願ヲ知事ニ差出スヘシ

蠶種行商者又ハ生繭賣買者死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ、業務ヲ廢止シタルトキハ本人ヨリ二十日以内ニ鑑札ヲ返納スヘシ但シ從業者ノ鑑札不用ニ歸シタルトキハ雇主ヨリ同期間内ニ之ヲ返納スヘシ

第三十六條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者又ハ蠶種冷蔵業者ニシテ死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ、業務ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタルトキハ

本人ヨリ遲滞ナク免許證ヲ返納スヘシ

蠶種製造者又ハ蠶種冷蔵業者ノ相續人ニシテ被相續人ノ業務ヲ承繼シタルトキハ遲滞ナク免許證ノ書換ヲ申請スヘシ

第三十七條 免許證又ハ鑑札ヲ毀損シ若ハ亡失シタルトキハ其ノ再下付ヲ、住所氏名又ハ名稱ヲ變更シタルトキハ其ノ書換ヲ申請スヘシ但シ毀損シタル場合ニハ其ノ免許證又ハ鑑札ハ之ヲ返納スヘシ

第三十八條 蠶業取締官吏吏員ノ官職印、蠶業取締所及支所印ハ様式第二十五號ニ依ル

第三十九條 毎年九月以後ニ於テ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ對シテハ蠶絲業法施行規則第七條、第十四條及第十五條ノ規定ヲ適用セス

第四十條 第六條、第十一條、第十二條、第十四條第二項、第十六條第一項、第二十七條及第三十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス



蠶絲業法施行手續

百四

第四十一條 本令ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ所轄蠶業取締所支所及蠶業取締所ヲ、蠶業取締所ニ差出スヘキ書類ハ所轄蠶業取締所支所ヲ經由スヘシ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年縣令第十二號蠶病豫防法施行手續ハ之ヲ廢止ス

樣 式  
第一號

蠶種製造免許願

住 所

氏

名(名稱)

生 年 月 日

蠶種製造場所	(郡市町村字番地)	(郡市町村字番地)
右 管 理 者	(何 某)	(何 某)
蠶兒飼育場所	(郡市町村字番地)	
右 擔 當 者	(何 某)	
蠶室ノ數及面積	(何 何 坪室)	
蠶具ノ種類及數	(何 何 件外)	
桑 園 反 別	(何反步)	
右 收 葉 量	(何 貫)	
購入契約桑葉量	(何 貫)	

掃立蟻量概定數(何々)	何	何
製造額概定數(何枚)	何	何

右免許相成度此段相願候也

年 月 日

右

氏

名(名稱)印

知事宛

(備考)

一 蠶種製造者又ハ管理者ノ履歷書、蠶絲業法施行規則第三條第一項第三號ニ關スル證明書及法人ニ在リテハ定款ヲ添付シ尙蠶具ノ調書ヲ添付スヘシ

二 蠶種製造場所々在在地ト蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所々在在地トカ之ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル場合ニハ關係地方長官連名宛トスヘシ

三 桑園及蠶室ノ所在地並其ノ土地臺帳ニ依ル番號ヲ記シタル書面ヲ添付スヘシ

四 桑葉購入ノ契約ヲ爲シタルモノアルトキハ土地臺帳ニ依ル番號反別ヲ記載シタル契約證寫ヲ添付スヘシ

第二號

蠶種製造届

免許證第

號

蠶種製造場所

蠶兒飼育場所	化性	化期	越年不越年ノ別	名稱	掃立豫定月日	掃立豫定蛾數	掃立豫定蟻量	特別蠶種製造豫定額	普通蠶種製造豫定額

右及届出候也

蠶絲業法施行手續

蠶絲業法施行手續

百八

年月日  
知事宛

住所  
業種氏

名(名稱)印

(備考)

蠶種製造場所數箇所アルトキハ前表ヲ其ノ場所毎ニ作成スヘシ

第三號

生繭取扱届

取扱場所	取扱豫定月日	取扱豫定數量	管理者氏名
	開所月日 閉所月日		

右及届出候也

年月日  
知事宛  
住所  
業種氏  
名(名稱)印

第四號

消毒届

蠶具	蠶室		種目	數量	施行月日	施行ノ場所
	同	何號				

蠶絲業法施行手續

百九

	網
何々	

右及届出候也

年月日

住 業種氏 所

名(名稱)印

知事宛

第五號

掃立届

蠶兒飼育場所	化性	化期	名稱	原蠶種製原蠶種 造者氏名製造場所	掃立 蛾數	掃立 蟻量	掃立 月日	記 號

右及届出候也

年月日

住 業種氏 所

名(名稱)印

知事宛

第六號

蠶兒讓渡許可申請書

記號	掃立蟻量掃立月日	蠶齡	讓渡サムトスル蠶 兒ノ數	讓渡サムトスル蠶 兒ノ掃裁ノ數

右何々事由ニ依リ郡市町村字番地何某へ讓渡致度候間許可相成度此段申請候也

年月日

讓渡人

業種氏

名(名稱)印

住所

住所

讓受人

業種氏

名(名稱)印

何蠶業取締所管下

蠶業取締所宛

第七號

蠶兒讓渡(讓受)證明書

住所

業種氏

名(名稱)

一 原蠶種製造者及原蠶種製造場所

二 化性化期及名稱

三 掃立月日及記號

四 掃立蛾數、掃立蟻量及蠶齡(蠶兒ノ頭數、推算蟻量及蠶齡)

右ノ内蠶兒何頭此ノ推算蟻量何及之ニ對スル掃殻ヲ郡市町村字番地何某ニ讓渡ス(右蠶兒及之ニ對スル掃殻ハ郡市町村字番地何某ヨリ讓受ク)

右證明ス

年月日

蠶業取締所印

(備考)

全部讓渡ノ場合ニ於テハ本様式中右ノ内以下ノ文字ヲ適宜變更シテ記載ス

第八號

蠶絲業法施行手續

臺紙記載事項變更許可願

項目	變更ノ文字	蠶種ノ枚數
特別蠶種		
普通蠶種		

右何々事由ニ依リ變更致度候間許可相成度此段相願候也

年月日

住 業種氏 所

名(名稱)印

知事宛

第九號

上 簇 届

蠶兒飼育場所	記號	上簇月日	豫種 定繭 月選 日別

右及届出候也

年月日

住 業種氏 所

名(名稱)印

蠶業取締所宛

第十號

收繭調書

記號	掃立蛾數

月	發	上	繭	同	選	種	收	對	掃
日	蛾	簇	層	功	除	繭	繭	繭	立
定	豫	月	片	繭	繭	樹	總	量	蟻
日	定	日	薄	樹	樹	量	樹	一	量
			不	量	量		量	夕	量
			量						

特別	普通
蠶種	蠶種
製造	製造
豫定	豫定
額	額

右ノ通相違無之候也

住 所

業 種 氏

名(名稱)印

年 月 日

蠶業取締所宛

(備考)

蠶絲業法施行規則第三十七條但書ニ依リ搬出ノ許可ヲ受ケタル繭アルト  
キハ其ノ樹量ヲ各項目欄ノ一側ニ朱記スヘシ

第十一號

搬出許可願

蠶絲業法施行手續

品名	(記號)	數量	搬出先

右何々事由ニ依リ搬出致度候間許可相成度此段相願候也

年月日

住 所  
業 種 氏

名(名稱)印

知事宛

(備考)

一時限リノ搬出ニシテ再現場ニ搬入スヘキモノハ其ノ搬出期間ヲ記入スヘシ

第十二號

搬出許可證

住 所

業 種 氏

名(名稱)

一掃殼、繭又ハ出殼繭

二數量

三搬出先

四搬出ノ期間アルトキハ其ノ期間

右搬出ヲ許可ス

年 月 日

蠶業取締所印

(備考)

繭又ハ出殼繭ニ在リテハ其ノ記號ヲ記載スヘシ

第十三號

蠶種化性(名稱)變更願

蠶絲業法施行手續



- 一 原蠶種製造者及原蠶種製造場所
  - 二 化性化期及名稱
  - 三 掃立月日及記號
  - 四 掃立蛾數及掃立蟻量
  - 五 新ニ附セムトスル化性第何化性(名稱何々)
  - 六 理由
- 右變更致度候間許可相成度此段相願候也

年 月 日  
 知 事 宛  
 住 所  
 業 種 氏 名(名稱)印

第十四號

蠶種化性(名稱)變更許可證

住 所  
 業 種 氏 名(名稱)

- 一 化性化期及名稱
  - 二 掃立月日及記號
  - 三 掃立蛾數及蟻量
  - 四 新ニ付セムトスル化性第何化性(名稱何々)
- 右變更ヲ許可ス

蠶業取締所印

第十五號

種繭證明書再下付(書換、下付)請求書

- 一 化性化期及名稱
- 二 記 號
- 三 種繭樹量

蠶絲業法施行手續

四一升ノ顆數  
五發蛾歩合

右何々事由ニ依リ種繭證明書再下付(書換、下付)相成度此段及請求候也

住 所

業 種 氏

名(名稱)印

蠶業取締所宛

(備考)

一書換ヲ請求セムトスル場合ニハ單ニ記號及種繭證明書ノ番號ノミヲ記載スルヲ以テ足ル

二書換及下付ノ場合ニ於テハ讓渡スヘキ又ハ讓受クヘキ種繭ノ枳量ヲ記載シ尙讓受人蠶種製造者ナルトキハ讓渡人及讓受人連署シテ請求スルコトヲ要ス

第十六號

不越年蠶種臺紙捺印請求書

種繭證明書記號番號	蠶種製造額	發蛾豫定月日
記 號 番 號	特別蠶種 普通蠶種	

右及請求候也

住 所

業 種 氏

名(名稱)印

蠶業取締所宛

第十七號

不越年特別蠶種檢查(越年特別蠶種母蛾檢查)請求書

化 性	化 期	名 稱	種繭證明書記號番號	特別蠶種	出 數	繭 量
			記 號 番 號	枚 數	蛾 數	(ノ)

右及請求候也


年月日

住 業種氏 所

名(名稱)印

蠶業取締所宛

第十八號

不越年普通蠶種產卵後檢查(越年蠶種產卵後檢查)請求書

化性 化期 名稱

種繭證明書記號番號 普通蠶種 出殻繭(殘餘) 數量

記號 番號 製造額 數 量


右及請求候也

年月日

住 業種氏 所

名(名稱)印

蠶業取締所宛

(備考)

越年蠶種產卵後檢查ノ場合ニ於テハ特別蠶種製造額ノ欄ヲ設クヘシ

第十九號

蠶種別變更請求書

化性	化期	名稱	記號	特別蠶種製造額 蛾數一枚數	變更セムトスル特別蠶種 蛾數一枚數
----	----	----	----	------------------	----------------------

右及請求候也

年月日  
業種氏所  
名(名稱)印  
蠶業取締所宛

第二十號

種繭審查請求書

化性	化期	名稱	種繭證明書記號番號	種繭樹量	發蛾豫定月日
			記號番號		

右及請求候也

年月日  
業種氏所  
名(名稱)印  
知事宛

第二十一號

原蠶種印取消請求書

化性	化期	名稱	取消請求枚數

右及請求候也

年月日

蠶業取締所宛

住 業種氏所

名(名稱)印

第二十二號

蠶種冷藏業免許願

住 所

氏

名(名稱)

生 年 月 日

名	治藏場所々在地
稱	

風穴(氷室又ハ冷 藏装置)ノ構造	容 積	蠶種豫定數量	冷藏ノ始期及終期 豫 定 月 日

右免許相成度別紙添付此段相願候也

年 月 日

知 事 宛

住 業種氏所

名(名稱)印

(備考)

添付書類左ノ如シ

一 管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名、住所及履歴ノ要領

蠶絲業法施行手續

- 二風穴氷室又ハ冷藏裝置ノ圖面
- 三前期ノ冷藏期間ニ於ケル溫度及濕度ノ調査書

第二十三號

蠶種冷藏成績及冷藏溫度屆

一蠶種冷藏成績	
地方別委託者數	冷藏數量
何縣又 何郡	何種何枚
組合又ハ 團體何組 個人何人	特別蠶種 何枚普通 蠶種何枚
自何月何日 至何月何日	主ナル蠶 種ノ種類
何々、何々	備考
二冷藏溫度	

月日	溫度		備考
	最高	最低	
何月何日			

右及届出候也

年月日 業種住所 氏名(名稱)印  
知事宛

(備考)

風穴又ハ氷室ヲ用キル者ニ在リテハ最高最低ノ區別ヲ要セス

第二十四號

鑑札下付願

蠶絲業法施行手續

蠶種行商(生繭賣買)  
ヲナサムトスル地域

鑑札ヲ携帶スヘキ者  
ノ氏名及生年月日

右相願候也

年月日  
知事宛

住 所  
業 種 氏 名(名稱)印

名(名稱)印

第二十五號

兵庫縣  
技師(技手)  
何某印

技師ハ  
方七分  
技手ハ  
方六分  
肉色朱

兵庫縣蠶  
業取締吏  
員何某印

方六分  
肉色朱

兵庫縣蠶  
業取締所  
(支所印)

方一寸  
肉色朱

兵庫縣告示第十五號

蠶絲業法施行手續第一條ニ依リ兵庫縣蠶業取締所及其ノ支所ノ名稱、位置及管轄區域左ノ通定ム

明治四十五年一月十六日

兵庫縣知事 服部 一三

名	稱	位	置	管	轄	區	域
兵庫縣蠶業取締所		兵庫縣廳內		兵庫縣一圓			
同	神戸支所	同	上	神戸市	武庫郡	川邊郡	有馬郡
				三原郡	美囊郡	加東郡	津名郡
同	姫路支所		姫路市北條口	姫路市	加西郡	加古郡	印南郡
				飾磨郡	神崎郡	揖保郡	赤穂郡
同	豐岡支所		城崎郡豐岡町	城崎郡	出石郡		

同	八鹿支所	養父郡八鹿村	養父郡	朝來郡
同	村岡支所	美方郡村岡町	美方郡	
同	柏原支所	氷上郡柏原町	多可郡	氷上郡 多紀郡

兵庫縣告示第十六號

兵庫縣蠶業取締所職制左ノ通定ム

明治四十五年一月十六日

兵庫縣知事

服部 一三

兵庫縣蠶業取締所職制

第一條 蠶業取締所ハ内務部ノ主管ニ屬シ左ノ職員ヲ置ク  
一 蠶業取締所

所長

蠶業取締吏員

書記

支所

主事

蠶業取締吏員

蠶種検査吏員

書記

助手

第二條 所長ハ知事ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第三條 主事ハ所長ノ指揮ヲ承ケ支所ノ事務ヲ處理ス

第四條 蠶業取締吏員ハ所長又ハ主事ノ指揮ヲ承ケ臨檢、検査其ノ他ノ事

務ニ従事ス

第五條 蠶種検査吏員ハ主事ノ指揮ヲ承ケ專ラ顯微鏡検査ニ従事ス

第六條 書記ハ所長又ハ主事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第七條 助手ハ主事ノ指揮ヲ承ケ顯微鏡検査ノ事務ヲ補助ス



達第一一號

知事官房  
内務部  
蠶業取締所

兵庫縣蠶業取締所處務規程左ノ通定ム

明治四十五年四月十二日

兵庫縣知事

服部 一三

兵庫縣蠶業取締所處務規程

- 第一條 特別ノ規定アルモノヲ除クノ外左ニ掲クル事項ハ取締所ニ在リテハ所長、支所ニ在リテハ主事之ヲ專決スルコトヲ得但シ特ニ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 一 蠶業取締ニ關シ定例アル願届ヲ處理スルコト
- 二 所員ノ事務分擔ニ關スルコト
- 三 所員ノ管轄區域内ノ出張ニ關スルコト

第二條 所長又ハ主事事故アルトキハ首席者其ノ事務ヲ代決ス

第三條 所員登所シタルトキハ自ラ出勤簿ニ捺印スヘシ

第四條 疾病其ノ他ノ事故ニ依リ出勤スルコト能ハサルトキハ登所時限迄ニ其ノ旨所長又ハ主事ニ届出ツヘシ

疾病ノ爲メ缺勤七日以上ニ涉ルトキハ届書ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ爾後十四日毎ニ同様ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 支所職員缺勤七日以上ニ涉ルトキハ主事ハ之ヲ所長ニ報告スヘシ

第六條 蠶業取締所又ハ支所ニ到達シタル文書ハ様式第一號ノ文書件名簿ニ登録シ所長又ハ主事檢閲ノ上主任者ニ交付スヘシ

第七條 支所ニ於テ知事宛ノ文書ヲ收受シタルトキハ支所限リ處理スヘキ事項ハ直ニ處分シ其ノ他ノモノハ調査ノ上所長ニ送付スヘシ但シ他ノ支所ニ關係アルモノハ其ノ支所へ合議ノ上處理スヘシ

第八條 收受文書ニシテ其ノ處分ヲ要スルモノハ速ニ回議ノ手續ヲ爲シ處

分ヲ要セサルモノハ回覽ニ供スヘシ但シ三日以内ニ處理シ難キ事由アル  
文書ハ期間ヲ豫定シ所長又ハ主事ノ承認ヲ受クヘシ

定例アル願届書ニシテ其ノ不備ノ爲メ返戻ヲ要スル如キ事ノ輕易ナルモ  
ノハ附箋ニ其ノ要領ヲ記載シ所長又ハ主事ノ認印ヲ受ケ發送スヘシ

第九條 郵便切手ノ受拂ヲ爲ストキハ様式第二號ノ受拂簿ニ之ヲ記入シ所  
長又ハ主事ノ認印ヲ受クヘシ

所員出張中郵便切手ヲ使用シタルトキハ用件發送先及切手ノ種類ヲ記載  
シタル請求書ヲ差出スヘシ

支所受拂ノ郵便切手ハ様式第三號ニ依リ翌月三日迄ニ所長ニ報告スヘシ  
第十條 支所ニ於テ蠶種ヲ受付タルトキハ様式第四號ノ蠶種受付簿ニ之ヲ

記載スヘシ

第十一條 所員ニ出張ヲ命スルトキハ第五號様式ノ出張命令簿ニ其ノ出張  
地及豫定月日ヲ記入シ所長又ハ主事之ニ認印スヘシ

所員歸所シタルトキハ歸所月日ヲ記入シ所長又ハ主事ノ認印ヲ受クヘシ

第十二條 特ニ命令ヲ受ケタル場合ノ外支所吏員其ノ管轄區域外ニ出張ノ  
必要アルトキハ其ノ月日出張先豫定日數並事由ヲ具シ豫メ主事ヨリ所長  
ノ承認ヲ受クヘシ

第十三條 蠶業取締所及支所ニハ宿直員ヲ置キ職員一名(助手ヲ除ク)及小  
使一名ヲ以テ之ニ充ツ

第十四條 宿直員ハ所長又ハ主事ニ於テ之ヲ定メ前日迄ニ當人ニ通知シ承  
印ヲ徴スヘシ但シ宿直ニ當ル者已ムヲ得サル事故アルトキハ自ラ代理者  
ヲ定メ所長又ハ主事ノ承認ヲ經テ代勤セシムルコトヲ得

第十五條 宿直ハ退所時限ヨリ翌日登所時限迄トシ休日ハ登所時限ヨリ翌  
日登所時限迄トス

第十六條 宿直員ハ宿直日誌ニ其ノ受理シタル文書物品ノ要件ヲ記載シ翌  
朝所長又ハ主事ノ檢閲ヲ受クヘシ

蠶業取締所處務規定

百四十

第十七條 宿直中到達シタル文書物品ハ左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

一所名又ハ所員宛ノ文書(親展書ヲ除ク)ヲ受ケタルトキハ總テ開緘ノ上至急ヲ要スルモノハ所長又ハ主事ニ送付シ急ヲ要セサルモノハ翌朝所長又ハ主事ニ引繼クヘシ

二物品ヲ受ケタルトキハ前號ノ例ニ依リ處理スヘシ

第十八條 退所時限後文書及物品ノ發送ハ宿直員之ヲ取扱フヘシ但シ郵便

電信料ハ郵便切手受拂簿ニ記入シ翌朝所長又ハ主事ノ認印ヲ受クヘシ

第十九條 本規程ニ定ムルモノノ外ハ兵庫縣處務規程及宿直規程ヲ準用ス

附 則

蠶業取締所ニハ當分ノ内宿直ニ關スル規定ヲ適用セス

様式第一號

文書件名簿

日 月	日 月	發 番	收 番
		事件ノ要旨	差出人
			宛 名
			處 理 者
			調 理
			調 理 者
			調 理 期 限
			調 理 完 了

様式第二號

郵便切手類受拂簿

主事認印	月 日	發送先	用 件	種類	量目	受	拂	殘	主務者印

様式第三號

蠶業取締所處務規定

百四十一

明治 年 月中 郵便稅受拂報告

一金	前月殘高
一金	本月受高
計金	
一金	本月遣拂高

內譯

種類	個數	料	金	備考
一種				
二種				
四種				
小包				

電信

差引金

翌月へ越高

右及報告候也

兵庫縣蠶業取締所、支所

年月日

主事氏

名印

所長宛

樣式第四號

蠶種受付簿

番	蠶種	受付	取扱者	蠶種返	同上返	取扱者	蠶種製造者
號	名稱	記號	枚數	蛾數	月日	認印	戻蛾數
					月日	認印	戻月日
							認印
							住所
							氏名

蠶業取締所處務規定


(備考)  
 本簿ハ原蠶種、特別蠶種、普通蠶種及化性、化期各別ニ口座ヲ設ケ調製スヘシ

樣式第五號

出張命令簿

所用及出張個所					命令月日	豫定日數	日	發歸	月日	日	所長又主事	職氏名	鐵道	水路	陸路	夜數	日數	金額	

所用及出張個所					命令月日	豫定日數	日	發歸	月日	日	所長又主事	職氏名	鐵道	水路	陸路	夜數	日數	金額	

達第一二號

知事官房  
内務部  
蠶業取締所

兵庫縣蠶業取締所事務取扱手續左ノ通定ム

明治四十五年四月十二日

兵庫縣知事

服部 一三

蠶業取締所事務取扱手續

第一條 蠶業取締所及支所ハ日誌ヲ備ヘ寒暖、晴雨其ノ他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第二條 蠶業取締所及支所ハ様式第一號ノ備品受拂簿及様式第二號ノ消耗品受拂簿ヲ備ヘ其ノ出納ヲ整理スヘシ

第三條 支所ニ於テ臨時人夫ヲ雇入レムトスルトキ又ハ運搬ニ困難ナル等特別ノ事情アル物品ヲ購入セムトスルトキハ其ノ地方ノ人夫受負人若ハ

營業者ヨリ見積書ヲ徴シ尙物品ニ在リテハ價格ニ關スル意見書ヲ附シ之ヲ蠶業取締所ニ請求スヘシ

第四條 蠶業取締所ニハ様式第三號乃至第五號支所ニハ様式第三號乃至第九號ノ諸臺帳ヲ備ヘ置クヘシ

第五條 蠶業取締吏員臨檢、檢査ノ爲メ出張スルトキハ手簿ヲ携帯シ其成績ヲ記載シ歸所後直ニ當該臺帳ニ轉載シ所長又ハ主事ノ檢閲ヲ受クヘシ

第六條 臨檢、檢査ヲ行フ場合ニ於テ飼育收繭ノ場所ト産卵ノ場所ト支所ノ管轄ヲ異ニスルトキハ各其ノ支所ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ飼育收繭ノ

成績ハ種繭檢査後産卵地ヲ管轄スル支所ニ通知スヘシ  
前項ノ通知ヲ受ケタル支所ハ蠶種檢査臺帳ニ其ノ成績ヲ記入シ爾後ノ檢査ヲ行フヘシ

第七條 原蠶種及特別蠶種ノ母蛾ノ檢査ヲ爲シタルトキハ様式第十號ノ一ノ蠶種母蛾檢査原簿及様式第十一號ノ蠶種檢査日計簿ニ其ノ成績ヲ記入

蠶業取締所事務取扱手續

スヘシ

第八條 特別蠶種又ハ普通蠶種ノ卵ノ検査ヲ爲シタルトキハ様式第十號ノ

二ノ卵検査原簿ニ其ノ成績ヲ記入スヘシ

第九條 主事ハ蠶種製造概定數ヲ様式第十二號ニ依リ毎年三月二十五日迄

ニ所長ニ報告スヘシ

第十條 主事ハ養蠶期毎ニ蠶絲業法施行手續ニ依ル蠶室蠶具ノ消毒施行期

日ヲ定メ其ノ十日前ニ所長ニ報告スヘシ

第十一條 主事ハ様式第十三號乃至第十八號ニ依リ左ノ期限内ニ検査ノ成

績ヲ所長ニ報告スヘシ

一 蠶室蠶具消毒報告 春期(五月三十日限)夏期(八月三十日限)秋期(十月三十日限)

一 蠶況臨検報告 化性化期別ニ臨検終了後七日以内

一 收繭後検査報告 化性化期別ニ検査終了後七日以内

一 産卵後検査報告 化性化期別ニ検査終了後七日以内

一 蠶種検査報告 特別蠶種ハ母蛾検査終了後十日以内、普通蠶種ハ産卵後検査終了後十日以内

一 蠶蛆驅除調査報告 床下掃除終了後七日以内

第十二條 蠶絲業法施行規則第七條ニ依ル前年ノ成績ヲ主事ハ毎年三月末日迄ニ所長ニ所長ハ四月末日迄ニ知事ニ報告スヘシ

第十三條 母蛾検査中ハ様式第十九號ニ依リ毎週其ノ成績ヲ所長ニ報告スヘシ

第十四條 主事ハ越年ノ原蠶種及特別蠶種母蛾検査ノ終了豫定月日ヲ其ノ二十日前所長ニ報告スヘシ

第十五條 主事ハ蠶業ニ關スル左記事項ヲ其ノ都度所長ニ報告スヘシ

一 桑葉發芽ノ狀況

二 蠶兒掃立ノ狀況

三 蠶兒發育ノ狀況 飼育ノ經過病蠶ノ有無

蠶業取締所事務取扱手續

蠶業取締所事務取扱手續

四桑葉賣買及過不足ノ狀況

五上簇及收繭ノ狀況

六生繭ノ出盛期及賣買ノ狀況

七蠻蛆被害ノ狀況

八天災其ノ他必要事項

第十六條 所長ハ毎年二月末日迄ニ前年ニ於ケル事務成績ノ概要ヲ知事ニ報告スヘシ

第十七條 蠶業取締吏員ハ蠶絲業法又ハ蠶絲業法施行規則若ハ蠶絲業法施行手續ニ違反シタル者ヲ檢舉シタルトキハ始末書ヲ徴シ告發原議書ヲ添ヘ所長ノ指揮ヲ受クヘシ

第十八條 所員出張旅費請求書ニハ様式第二十號ノ出張命令報告書ヲ添附スヘシ

附 則

第九條ノ蠶種製造概定數報告期限ハ明治四十五年ニ限リ四月末日迄トス

様式第一號

備品受拂簿

何		月	年	日	摘	要	受	拂	現	在	高
々											

(備考)

本簿ハ品目毎ニ口座ヲ設クヘシ

様式第二號

消耗品受拂簿

蠶業取締所事務取扱手續



年月日	摘要	受高拂高	殘高	主務者印	受領者氏名印

(備考)

本簿ハ品目毎ニ口座ヲ設クヘシ

様式第三號ノ一

蠶種製造者臺帳

指令	免許番號	蠶種製造者	住所
年月日		氏名	
		生年	
		月日	

蠶具籠	蠶室		管理者			蠶種製造場所	履歷ノ概要
	面積	室數	概要	履歷ノ	氏名		

概定數	蠶種製造		掃立蟻量概定數	購入契約桑葉量	園桑		數	類及網	ノ種 蕨
	普通	特別			右收葉量	反別			

樣式第三號ノ二

考	備

蠶室		飼育擔當者氏名	蠶兒飼育場所
面積	室數		

蠶種製造概定數	蠶種製		掃立蟻量概定數	購入契約桑葉量	桑園		數	種類及		蠶具ノ
	普通	特別			收葉量	反別		網	苴	

考 備

--

樣式第四號

蠶種冷藏業者臺帳

免許指令番號	冷藏業者氏名	管理者氏名
免許年月日	住 所	住 所

考 備	冷藏所ノ名稱	所在地	冷藏シ得ヘキ	冷藏豫定	前期ノ冷藏期間ニ
	別ノ種	容積	收容蠶種ノ數量	始期	終期
	裝置	場所	月	日	於ケル溫度及濕度
	場所	場所	溫度	濕度	濕度
	場所	場所	場所	場所	場所
	場所	場所	場所	場所	場所
	場所	場所	場所	場所	場所
	場所	場所	場所	場所	場所
	場所	場所	場所	場所	場所
	場所	場所	場所	場所	場所

様式第五號

原蠶種製造臺帳

原蠶種	製造場所	記號	種原蠶種	住所
		化性	種原蠶種	
		化期	種原蠶種	
		名稱	種原蠶種	
		番證	種原蠶種	
		明書	種原蠶種	
		號	種原蠶種	
		柵量	種原蠶種	
		枚數	種原蠶種	
		捺	種原蠶種	
蛾數	種原蠶種	氏名		
枚數	種原蠶種			
取	種原蠶種			
消	種原蠶種			
蛾數	種原蠶種			
同上	種原蠶種			
摘	種原蠶種			
要	種原蠶種			
	種原蠶種			
	種原蠶種			

様式第六號

生繭取扱者臺帳

業種	氏名	住所	取扱場所	管理者ノ適否	取扱場運搬器ノ適否	取扱月日		取扱數量	蠶頭捕獲數	備考
						豫定	施行			
						自月 自月				
						至月 至月				
						日 日				

(裏面モ同シ)

様式第七號

蠶室消毒臺帳

蠶種製造場所	右管理者	蠶兒飼育場所	蠶室製造者		氏名	住所	擔當者氏名	施行月日	開始	終了	蠶室數	面積	籠	蕨網	蠶室	消毒種別	藥品使用量
			氏名	住所													

考 備

樣式第八號

檢 查 臺 帳

製造 產卵場所		蠶種 飼育場所		種 製造者		原蠶 製造場所	
飼育擔當者		蠶種 製造者		者製造		蠶種 住 所	
管 理 者		蠶 種 製 造 者		氏 名		住 所	

檢 臨

考 備

收 後 蠶 收 查		期 化 性 化		別 年 不 越		稱 名	
量 蠶 收 總		日 月		日 月		日 月	
收 ス ニ 一 蟻		數 蠶		量 蟻		量 蟻	
樹 量		號		量 收 ス 二 百		量 蠶 ル 對 蛾	
數 ノ 一 類 外		籠 數		面 飼 育 蠶 兒 五 齡 期 中		日 月 簇 上	
步 繭 層 繭 除 繭 去		飼 育 擔 當 者		日 月 日 豫 選 種		日 月 日 豫 選 種	
功 同 功 繭 其 他		管 理 者		日 月 日 豫 選 種		日 月 日 豫 選 種	
類 數		蠶 種 製 造 者		日 月 日 豫 選 種		日 月 日 豫 選 種	
種 繭 發 蛾 步 合 發 蛾		氏 名		日 月 日 豫 選 種		日 月 日 豫 選 種	
種 繭 百 類 中		住 所		日 月 日 豫 選 種		日 月 日 豫 選 種	
豫 定 數 概 製 蠶 種		證 明 書		日 月 日 豫 選 種		日 月 日 豫 選 種	
日 月 量 數 別 特 通 番 號 下 付		證 明 書		日 月 日 豫 選 種		日 月 日 豫 選 種	

蠶業取締所事務取扱手續

考 備

種 蠶	考 備	產 卵 後 檢 査			
		日 月	蛾 出	發 總	發 蛾 繭
無毒	特 別 蠶 種 蛾 數	繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
有毒		繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
其他	普 通 蠶 種	繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
計		繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
無毒	百 分 比 例	繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
有毒		繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
其他	特 別 蠶 種	繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
計		繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
無毒	普 通 蠶 種	繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
有毒		繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
其他	不 合 格	繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
計		繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
無毒	特 別 蠶 種	繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
有毒		繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
其他	普 通 蠶 種	繭 數	繭 數	繭 數	繭 數
計		繭 數	繭 數	繭 數	繭 數

樣式第九號

鑑札下付臺帳

查 檢		業 種	氏 名	住 所	從 業 者 氏 名	備 考
考 備	考 備					

樣式第十號ノ一

蠶業取締所事務取扱手續

蠶種母蛾(卵)検査原簿

蠶種製造者氏名	記號	番號	化性	化期	名稱	検査成績				検査月日	月	日	吏員	摘要													
						1	2	3	4						5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
						計	他	其	毒	有	毒	無															

備考 本簿ハ毎日蠶種製造者別及化性化期名稱ノ異ナル毎ニ編冊シ合計ヲ附スヘシ

様式第十號ノ二

普通蠶種卵検査原簿

蠶種製造者氏名	記號番號	化性化期	名稱	検査成績				検査月日	月	日	吏員	摘要
				1	2	3	4					

備考 同上

様式第十一號

蠶種検査日記簿

月	日	枚數	無毒	有毒	其他	計	百分比	検査吏員認印	摘要



(計)										
(累計)										

備考

- 一、本簿ハ検査原簿ニ依リ各検査吏員ノ日計ヲ記入スヘシ
- 二、原蠶種、特別蠶種及化性化期毎ニ各別ニ口座ヲ設クヘシ

様式第十二號

何化性第何化蠶種製造概定數報告

(合計)	(郡計)	郡市名	町村名	越年ノ不 越年ノ別	蠶種製 造者數	蠶兒飼 育場所 數	蠶兒掃 立豫定 月日	蠶兒掃 立蠶種 概定數	蠶兒掃 立蠶種 概定數	特別普 通數

右及報告候也

年 月 日

所 長 宛

何支所主事 氏

名印

備考 本表ハ蠶種製造届出後各化性化期及冷蔵蠶種別ニ調製スヘシ

蠶業取締所事務取扱手續

様式第十三號

春(夏)(秋)期蠶室蠶具消毒報告

郡市名	町村名	蠶種製飼 造者數	場所數	室數	面積	籠	蕙網	蠶室蠶具 消毒ノ種別	藥品使用量
(合計)									
(郡計)									
備考									

右及報告候也

年 月 日

所長宛

何支所主事 氏

名印

備考 再消毒ヲ命シ又ハ其ノ他ノ事由アリタルトキハ其ノ狀況及蠶兒飼育場所數ヲ備考ニ記載スヘシ

様式第十四號

何化性第何化蠶況臨檢報告

郡市名	町村名	越年ノ蠶種飼育者數	場所	蠶兒掃立		對スル平均收量	上簇月日
				月日	蛾數		
				自 月 日			自 月 日
				至 月 日			至 月 日

備考	合計	(郡計)		

右及報告候也

年月日

何々支所主事 氏

名印

所長宛

備考

一、本表ハ各化性化期及冷蔵蠶種別ニ調製スヘシ

二、蠶兒發生ノ狀況及蠶病ノ名稱被害ノ程度又ハ病蠶發生シ健蠶ヲ他ニ移シタルモノアルトキハ其ノ狀況ヲ備考ニ記載スヘシ

様式第十五號

何化性第何化收繭後検査報告

郡市名	町村名	越年ノ不越年ノ別	蠶種飼育者製造場所	立掃蟻量	收繭樹量	蠶量一收繭額ニ對スル平均ノ	種繭平均層

(郡計)	
合計	
備考	

右及報告候也

年月日

何々支所主事 氏

名印

所長宛

備考

- 一、本表ハ各化性化期及冷蔵蠶種別ニ調製スヘシ
- 二、蠶種製造者數、飼育場所數及掃立蟻量等ニ於テ蠶況臨檢報告ト符合セサルモノアルトキハ其ノ事由ヲ備考ニ記載スヘシ

様式第十六號

何化性第何化産卵後検査報告

郡市名	町村名	越年蠶種 不越年蠶種 別ノ製造場所 數	種繭 繭量	蠶種製造額		特別 普通	種繭一升ニ對ス ル蠶種製造枚數
				特別 枚數	普通 枚數		
(郡計)							

合計

備考

右及報告候也

年月日

何々支所主事 氏

名印

所長 宛

備考

- 一、本表ハ各化性化期及冷蔵蠶種別ニ調製スヘシ
- 二、收繭後検査報告ト符合セサルモノアルトキハ其ノ事由ヲ備考ニ記載スヘシ
- 三、種繭ヲ管轄区域外ニ移出シ若ハ移入シタルトキハ其ノ數量及移出入先ヲ備考ニ記載スヘシ
- 四、不合格ノモノハ其ノ事由ヲ備考ニ記載スヘシ

様式第十七號

何化性第何化蠶種検査報告

郡市名	町村名	越年 不越年 別ノ	蠶製 製造 者數	特別蠶種			特別 蠶種 變更 枚數	普通蠶種		
				無毒	有毒	其他		計	合格	不合格

(郡計)	
合計	
備考	

右及報告候也

年月日

何々支所主事 氏

名印

所長宛

備考

- 一、本表ハ各化性化期及冷蔵蠶種別ニ調製スヘシ
- 二、原蠶種及特別蠶種ニシテ母蛾検査ヲ請求セサルモノ及産卵後検査報告ト符合セサルモノアルトキハ其ノ事由ヲ備考ニ記載スヘシ
- 三、各蠶種ノ種別ニ異動ヲ生セン場合ハ其ノ事由ヲ備考ニ記載スヘシ

様式第十八號

四、原蠶種及特別蠶種ニシテ卵検査ニ依リ有毒ノモノアリタルトキハ其ノ數ヲ備考ニ記載スヘシ

蠶蛆驅除調査報告

郡市名	町村名	蠶絲業者別業者數	生繭取扱場所數	生繭取扱枿量	蠶蛆捕獲頭數	蠶蛆寄生種	寄生歩合

備考	(村計)		
	(郡計)		
	合計		

右及報告候也

年月日

何々支所主事 氏

名印

所長 宛

備考 二業以上兼業セル者ハ主ナル業体ノ欄ニ記入シ其ノ旨備考ニ記載スヘシ

様式第十九號

越年(不越年)蠶種母蛾検査成績週報

計	月	取締検査員數	鏡檢ニシタル吏員數	助手數	蠶種受付數	蛾數	無毒他計	吏員一人一日鏡檢蛾數	百分比例
	日	數	數	數	枚數	數	無毒他計	無毒有	其他

累計

備考

未檢查確定蛾數

未檢查豫定蛾數

右及報告候也

年月日

所長宛

何々支所主事氏

名印

様式第二十號

第 號 明治四十年 月 日 兵庫縣蠶業取締所 支所主事

出張命令報告

發 着 地 名						用 務	職 氏 名
鐵道	水路	陸路	夜數	日數	金額		
							蠶業取締吏員



兵庫縣令第三十六號

蠶種検査手数料徴收規程左ノ通り定ム

明治四十五年六月十日

兵庫縣知事

服部 一三

蠶種検査手数料徴收規程

- 第一條 蠶種検査手数料ハ蠶種製造者所在地ノ郡市役所ニ於テ之ヲ徴收ス
- 第二條 蠶種検査手数料ハ前納トス  
前項ノ手数料ハ蠶種検査ニ着手シタルトキハ如何ナル事由アルモ之ヲ還付セス但シ豫納ニ係ル不越年普通蠶種検査手数料ハ此ノ限ニ在ラス
- 第三條 特別及普通蠶種検査手数料ハ蠶種ノ検査ヲ受ケムトスル際様式第一號ノ手数料納付届ヲ所轄郡市役所ニ差出シ郡市長ノ發スル納額告知書ニ依リ指定ノ縣金庫ニ納付スヘシ  
不越年普通蠶種検査手数料ハ蠶種臺紙捺印請求ノ際前項ノ例ニ準シ様式第二號ニ依リ届出テ其ノ枚數ニ相當スル手数料ヲ豫納スヘシ

第四條 前條ニ依リ納付シタル蠶種検査手数料ノ領收證書ハ之ヲ特別蠶種母蛾検査請求書、普通蠶種産卵後検査請求書又ハ不越年普通蠶種臺紙捺印請求書ニ添附シ所轄蠶業取締所支所ニ差出スヘシ

第五條 第三條第二項ニ依リ豫納シタル手数料ハ産卵後検査済ノ上様式第三號ニ依リ検査手数料精算書ヲ所轄蠶業取締所支所ヲ經テ郡市役所ニ差出スヘシ

第六條 蠶絲業法施行規則第二十八條第一項第二十九條ニ依ル検査ニ對シテハ検査手数料ヲ徴收セス

附 則

本規程ハ明治四十五年度ヨリ之ヲ施行ス  
様式第一號

特別蠶種検査手数料納付届

普通蠶種検査手数料徴收規程

		化性	化期	名稱	種繭證明書 記號	蠶種枚數	手數	料
					番號			

右納付致度此段及御届候也

住 所

年 月 日

業 種 氏

名 印

郡 市 長 宛

(注意)特別蠶種ト普通蠶種トハ別紙ニ認ムヘシ

樣式第二號

不越年普通蠶種檢查手數料豫納届

		種繭證明書 記號	蠶種製造豫定枚數	手 數	料
		番 號			
		號			

右豫納致度此段及御届候也

住 所

年 月 日

業 種 氏

名 印

郡 市 長 宛

樣式第三號

不越年普通蠶種檢查手數料精算書

一 金

豫 納 高

內

蠶種檢查手數料徵收規程

蠶種検査手数料徴収規程

百八十八

金

蠶種製造高

差引金

臺紙證印抹消ヲ受ケタル分

此明細

種繭證明書 記號	番號	豫納月日	ケタル數	手數料	納蠶種製同 上證印抹 下戻ヲ受ケル分

右精算書差出候(ニ付臺紙證印抹消ニ係ル分御下戻相成度候)也

年月日  
郡市長宛

住所  
業種氏名印

兵庫縣甲訓令第二十二號

郡市役所  
蠶業取締所

蠶種検査手数料徴収手續左ノ通り定ム

明治四十五年六月十日

兵庫縣知事 服部 一三

蠶種検査手数料徴収手續

第一條 蠶種検査手数料ノ徴收ハ蠶種製造者所在地ノ郡市役所ニ於テ取扱  
フヘシ

第二條 郡市役所ニ於テ特別蠶種、普通蠶種検査手数料納付届及不越年普  
通蠶種検査手数料豫納届ヲ受理シタルトキハ直ニ納額告知書ヲ發行シ收  
入ノ手續ヲ爲スヘシ但シ納額告知書ニハ特別普通ノ別及枚數ヲ記載スヘ  
シ

第三條 蠶業取締所支所ニ於テ蠶種検査請求書ヲ受理シタルトキハ蠶種ノ  
蠶種検査手数料徴収手續

百八十九

數量ト手数料領收證書トヲ對照領置シ蠶種検査濟ノ上領收證書ノ欄外ニ  
検査濟ノ印ヲ押捺シ蠶種ト共ニ返付スヘシ

第四條 蠶業取締所支所ニ於テ不越年普通蠶種検査手数料精算書ヲ受理シ  
タルトキハ其ノ正否ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ主事認印ノ上郡市役所  
ニ送付スヘシ

第五條 本手續ニ定ムルモノノ外ハ總テ兵庫縣會計規則並收入支出證明規  
程ニ準據スヘシ

兵庫縣訓令甲第二號

内務部  
蠶業取締所

兵庫縣蠶業取締所職員旅費規則左ノ通り定ム

明治四十五年一月二十日

兵庫縣知事 服部 一三

兵庫縣蠶業取締所職員旅費規則

- 第一條 蠶業取締所職員ノ旅費支給額ハ別表ニ依ル
- 第二條 在勤廳所在地市町村内ノ出張ニハ旅費ヲ支給セス
- 第三條 蠶業取締吏員蠶種検査吏員及助手ニシテ在勤廳管轄區域内ニ駐在  
地ヲ指定セラレタルトキハ其ノ地ヲ以テ在勤廳所在地ト看做ス
- 第四條 蠶種検査吏員及助手ニシテ事務ノ都合ニ依リ解職セラレタルトキ  
ハ任用當時ノ本人居住地ニ至ル迄前職相當ノ旅費ヲ支給ス
- 第五條 旅費ノ支給方法ハ本則ニ定ムルモノノ外縣吏員及其ノ他職員旅費

蠶業取締所職員旅費規則